

令和5年度

水道事業統計年報

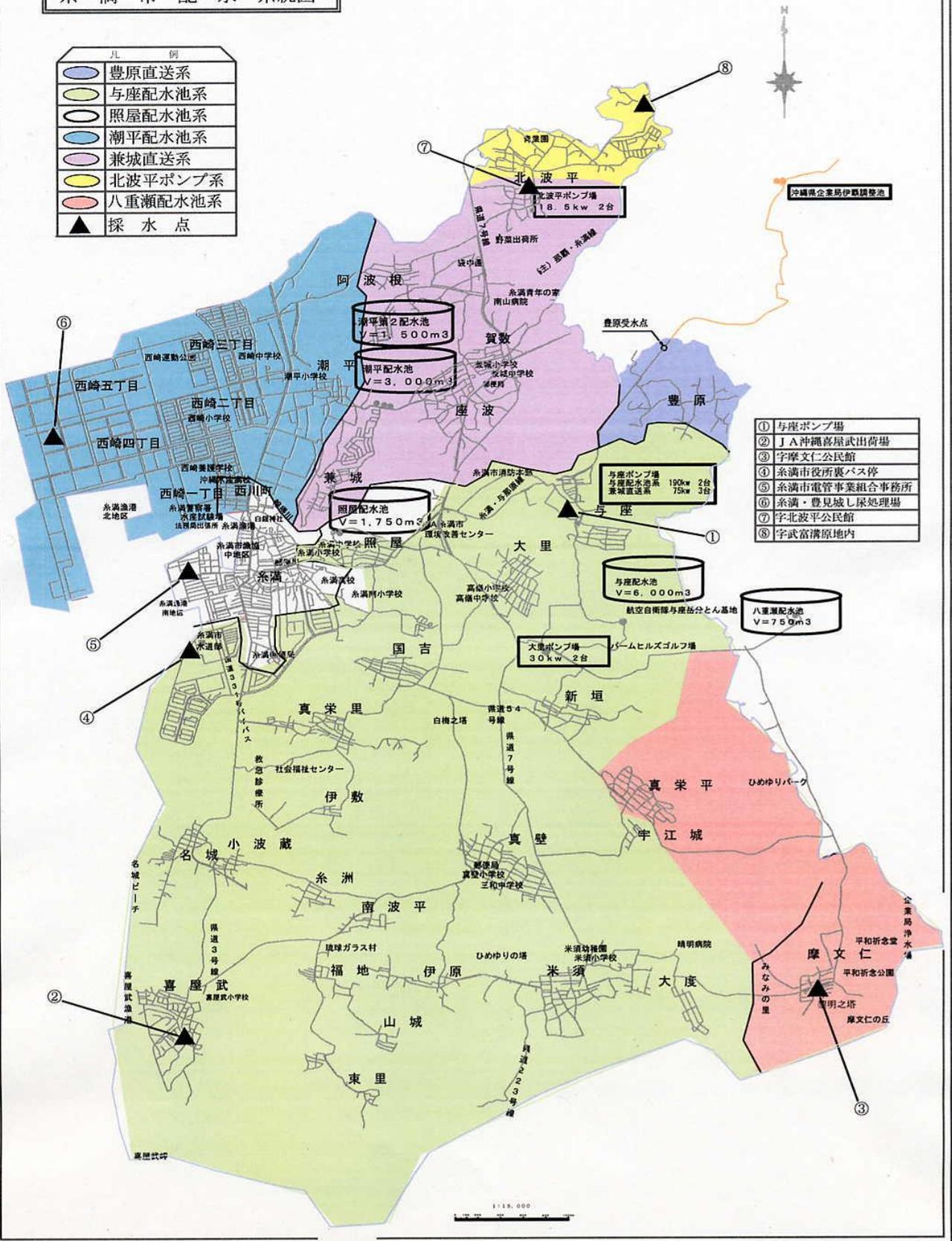
自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

糸 満 市 水 道 部

糸満市配水系統図

凡 例	
	豊原直送系
	与座配水池系
	照屋配水池系
	潮平配水池系
	兼城直送系
	北波平ポンプ系
	八重瀬配水池系
	採水点



- | | |
|---|--------------|
| ① | 与座ポンプ場 |
| ② | J A 沖縄喜屋武出荷場 |
| ③ | 字摩文仁公民館 |
| ④ | 糸満市役所裏バス停 |
| ⑤ | 糸満市電管事業組合事務所 |
| ⑥ | 糸満・豊見城し尿処理場 |
| ⑦ | 字北波平公民館 |
| ⑧ | 字武富溝原地内 |

1:15,000

令和5年度水道事業統計年報目次

第1章 事業の推移

1-1. 糸満市水道事業のあゆみ	1
1-2. 令和5年度事業概要	5
1-3. 水道事業の推移	7
1-4. 水道料金の変遷	8

第2章 機構

2-1. 機構	9
2-2. 事務分掌	10
2-3. 職員構成	12

第3章 施設

3-1. 年度別管路延長	13
3-2. 令和5年度固定資産明細書	14
3-3. 配水池及びポンプ施設	16

第4章 給水装置統計

4-1. 配水施設修繕状況	19
4-2. 給水施設修繕状況	19
4-3. 漏水調査状況	19
4-4. 水質検査結果表	20
4-5. 量水器取替状況	23

第5章 業務統計

5-1. 受水量及び有収水量	25
5-2. 受水費及び給水収益	26
5-3. 用途別栓数	27
5-4. 用途別有収水量	27
5-5. 用途別調定額(水道使用料)	28
5-6. 開閉栓状況	29
5-7. 水道料金収納状況	30

第6章 財務

6-1. 損益計算書	31
6-2. 貸借対照表	32
6-3. 費用構成比較	34
6-4. 企業債明細書	36
6-5. 財務・経営分析	38

第7章 議会及び認可事項

7-1. 議会議決事項	43
7-2. 行政官庁許認可事項	43

第8章 資料

8-1. 糸満市水道事業年表	45
8-2. 拡張事業許認可事項	51

第1章 事業の推移

- 1-1 糸満市水道事業のあゆみ
- 1-2 令和5年度事業概要
- 1-3 水道事業の推移
- 1-4 水道料金の変遷

1-1 糸満市水道事業のあゆみ

(1) 合併から本土復帰まで～事業の構築期

糸満市は昭和36年10月1日に糸満町、兼城村、高嶺村、三和村の1町3村が合併し新糸満町が誕生した。糸満地区は漁業と商工業、他の地区は農業を中心とした産業構造で昭和46年12月1日には市に昇格し、本県10番目の市制が施行された。人口も年々増加し、本島南部の中核都市として発展する。

水道事業については、合併当時は井戸水や湧水等を水源とする集落（字）営や個人営の簡易水道のみであった。雨水に頼る簡易水道は慢性的に水不足であり、さらに昭和38年4月には、70年ぶりの大干ばつに襲われ、消防車による給水が字喜屋武、東里、真栄里豊原、北波平、川尻で行われ、町営水道の建設が強く求められていた。

昭和42年11月20日、町として水道事業の認可を得て、本格的に水道事業を開始した。大里嘉手志川下流、照屋後原井戸を水源として、昭和43年7月、字照屋高台に照屋浄水場の第1期工事（着水井、濾過地、殺菌室、配水池）、翌年1月に第2期工事（取水施設、ポンプ場施設、導水・配水施設）が完成した。

また、昭和44年3月25日には、兼城地区への給水を目的に第1次事業変更を行い、配水管工事に着手した。同地区は水源が乏しく上水道の導入が最も求められていた。同年7月1日に水道課（業務係・工務係）が建設課から分離新設された。

昭和45年6月、字糸満南区、字照屋に給水を開始した。これが本市上水道給水の始まりである。同年11月に、字糸満で集団赤痢が発生し社会的に大きな問題となった。当時の琉球政府屋良主席は、感染源とされる民営簡易水道の改善指導を建設局長に指示している。翌年1月及び5月に相次いで事業変更認可を受けて字糸満の上水道整備に乗り出すが、3業者との簡易水道の買収が難航し交渉が成立したのは昭和46年7月のことであった。

(2) 本土復帰以後（昭和）～大型投資により断水が解消するまで

昭和47年5月15日、沖縄県が本土復帰し水道料金もドルから円へ切替わった（1ドル＝308円）。水道事業の設置に関する条例も整備し、昭和48年6月には糸満地区の上水道整備が完成。同年7月、水道料金の改定を行う。昭和50年8月、糸満地区で一部集金業務の委託を開始。同年10月1日、水道部が設置（業務課・工務課）された。

給水業務については、同年11月から断水が始まり時間給水となった。翌49年1月には一日おきの給水が2月7日まで続いた。3月、糸満ロータリー中心地で火災が発生したが、断水日のため消火活動がはかどらず4棟焼失した。8月には再び時間給水となる。また、昭和51年1月、夜間断水が始まり、さらに昼間の給水制限まで及び、3月26日まで続いた。

昭和51年4月、県企業局から与座浄水場（ポンプ場・配水施設）を無償譲受し、また市議会代表が県知事に緊急送水の要請をしている。翌年3月、与那原町から与座ポンプ場までの送水管敷設工事を完工し、昭和52年4月、県企業局からの受水が始まった。1日3,000トンの受水で市取水分との混合配水であった。9月、西崎町、三和地区、兼城・高嶺地区の一部への給水を目的に事業変更を行った。

昭和53年1月の県企業局料金改定（値上率67.75%）を受けて、2月に水道料金を改定した。3月15日、待望の大型配水池、与座配水池が与座岳に完成した（容量6,000

トン、三和地区・高嶺地区へ給水)。8月、全市給水のための送水管敷設工事を着工した。また、7月には糸満地区の一部検針業務の委託を開始した。

昭和54年9月に字米須、12月には字喜屋武への給水を目的に事業変更を行った。

昭和55年7月、これまで南部水道企業団から受水していた字豊原へ給水を開始した。同年8月、制限給水が始まり326日間続いた。昭和56年2月28日、字潮平の高台に潮平配水池が完成(容量3,000トン、西崎地区へ給水)。4月、字喜屋武への給水を開始した。9月、県企業局が料金を改定(値上率32.15%)し、これを受けて翌年1月、水道料金を改定した。

昭和57年4月字宇江城へ、翌年6月、字武富(一部は豊見城村から受水していた)への給水を全面開始した。昭和59年4月、字大里、照屋水源からの取水を廃止、さらに昭和61年4月、字糸満の玉城水源からの取水も廃止をし、照屋浄水場を閉鎖した。昭和61年8月、座波簡易水道が県の調査で飲料水に不適とされた。急きよ上水道臨時給水管により給水を行い、さらに事業を変更し字座波への配水管を敷設した。

昭和60年4月、収納管理電算システムを導入し業務の合理化が進む。

昭和62年2月28日、同浄水場跡地に照屋配水池を築造した(容量1,750トン、糸満地区へ給水)。同年11月、与座水源からの取水を廃止し与座浄水場を閉鎖した。これにより県企業局からの全面受水となり水質も硬水から軟水へ改善された。

(3) 平成以後～整備・拡充

平成元年4月、消費税法施行により消費税(3%)が導入され県企業局は10月に料金転嫁した。さらに平成5年6月に同局は料金改定(値上率29.56%)したが、本市の消費税転嫁は平成6年1月の料金改定時であった。その間の消費税は水道事業の負担となり経営を圧迫した。

平成4年4月、機構改革により2課から3課へ増設(庶務課・業務課・工務課)された。

平成5年2月に水道事業通水25周年記念を記念し南区公民館において式典と祝賀会を開催した。

平成7年1月に阪神大震災が起き2月に工務課から支援要員1名を派遣した。この大災害を教訓に配水管に耐震性が強く求められていった。

平成8年5月、財務会計システムを導入し経理事務の合理化が進む。平成9年4月、部から局へ昇格し、水道事業管理者も市長兼任から水道局の専任となり水道局長が就任した。同時に庶務課から総務課へ課名を変更(総務課・業務課・工務課)した。同月、消費税率が5%へ改正され地方消費税が導入された。6月に県企業局が料金へ転嫁し、本市は8月に転嫁となった。

また、平成9年3月、北波平ポンプ場が完成し字北波平・武富の低水圧が改善された(送水能力25,000m³/日)。平成10年3月、潮平・照屋配水地に緊急遮断弁を設置し、平成11年1月に与座配水池にも設置完了し緊急時の水の確保が可能となった。

平成11年2月、水道事業通水30周年を記念し式典と祝賀会を開催した(サムシングフォー西崎)。

平成13年3月、字新垣・字座波の簡易水道地域が市上水道に切り替えた。これにより市内全域で上水道が普及した。

平成14年4月、機構改革により3課から2課へ統合(総務課、工務課)。同月1日に料金改定(7.8%)を行った。

同年5月、水道局新庁舎（潮崎町）において新たに業務を開始する。

大里ポンプ場用地と八重瀬配水池用地を買収した。

平成17年4月1日、「水道局」から「水道部」に改める。水道事業管理者が市長となる。

平成17年4月1日、摩文仁地域の水道業務移管に伴う給水を開始する。これにより市内全域給水施設整備が完備となった。

平成18年2月、潮平第2配水池竣工（1,500^m）により西崎町及び国道331号沿いの安定給水強化が図られた。

平成18年4月1日、新水道料金・財務会計システム導入。

平成20年4月、潮平配水池からの配水区域である西崎系統及び国道331号沿いの安定給水を図るために新たにφ250mmの配水管を新設した。

平成20年4月1日、水道メーター検針業務及び受付事務、量水器開閉栓業務の一部を民間委託した。

（4）平成以後～整備・維持及び危機管理

平成21年2月、水道事業通水40周年を記念して記念誌を発刊した。

平成22年6月、国庫補助による西崎6丁目地区配水管等の更新工事及び水管橋工事を行い、耐震性の強化により西崎地区の安定供給が図られた。

平成22年8月、国道バイパス工事に伴う真栄里地区の配水管布設工事、市道ガタ原線整備工事及び同川尻親田原線整備工事に伴う配水管布設工事を行い施設整備の充実を図る。

平成23年3月、マッピングシステムの導入により業務の効率化、迅速化を図る。

平成23年4月、「公営企業会計・水道料金システム」を新たに導入し業務の効率化・迅速化を図る。

平成23年9月、字糸満・真栄里地内において国道バイパス工事や川尻親田原線街路事業に伴う配水管布設工事を行う。翌年3月、平成24年度から5カ年間の補助事業整備計画としてポンプ場や配水管の耐震化を図るため、「糸満市水道施設整備事業事前評価書」を策定した。

平成24年11月、地方公営企業会計制度の改正に伴う会計基準の見直しが平成26年度事業から適用されることに伴い、公営企業会計制度改正委託業務を民間委託した。

平成25年2月、耐震化計画を策定し、今後の管路更新耐震化事業の目安とする。

計装設備による遠方監視システムの機能追加を行った。また、米須、伊原、西崎地区の老朽化した配水管を耐震管に更新した。

平成25年4月、機構改革により下水道事業と組織統合3課から2課へ統合（総務課、工務課）（部長・総務課長・工務課長2事業併任）。統合により「庶務係、業務係」を「水道総務係、水道業務係」に、「工務係」を「水道係」に改める。

平成26年3月、与座ポンプ場の耐震補強工事、糸洲地内や西崎地内の配水管を耐震管に更新するとともに武富区画整理地区や賀数地区など未整備地区の配水管を新設した。

平成26年4月、法改正により消費税率が8%となったことから、本市も5月分から適用し、同時に効率的な経営により財政状況が好転したことを踏まえ消費税抜きの旧料金から12%の料金値下げを行い市民の負担軽減を図る。同月、地方公営企業会計制度の改正に伴う大幅な会計基準の見直しを実施。

平成27年3月、西崎町3丁目地内の配水管を耐震管に更新するとともに武富区画整理

地区、北波平、与座、阿波根地内の配水管新設を行った。

平成28年3月、豊原地内及び西川町地内の配水管を耐震管に更新。

平成29年3月、西崎1丁目地内、西川町地内及び新垣地内の配水管の更新や武富区画整理地内配水管布設を行った。

平成29年5月、効率的かつ円滑な執行及びその実施過程の透明性を図り、水道事業施設整備の適切な実施に資することを目的とした計画書を作成し、その計画書（事前評価書）を事前評価委員会に諮り厚生労働省へ提出した。

また、平成30年3月には糸満市水道事業に係るアセットマネジメント及び経営戦略を策定し、中長期的な視点と財源の裏づけを持った資産の維持管理及び更新計画を行い、水道ビジョンで掲げた「いつでも どこでも おいしい 水道」と「安心 安定 持続 環境」の実現を図る。

平成30年度に賀数、北波平、真栄里、米須及び潮平地内において配水管布設工事を行い、それに伴う消火栓設置工事を賀数、武富、潮平地内において行った。

また、座波及び糸満地内において下水道工事に伴う配水管移設工事を実施した。

平成31年2月、水道事業50周年を記念して記念誌を発刊した。

同年3月に沖縄県企業局による豊原受水点のメーター取替え及び検針日が15日から末日へと変更された。

令和元年度に、豊原地内、与座地内、新垣地内、糸満地内、糸洲地内及び小波蔵地内において配水管布設工事を実施し、それに伴う消火栓設置工事を糸満（ロータリー）、与那堀線において実施した。

令和2年度に、豊原地内において送水管布設工事、米須、潮平地内、摩文仁地内において配水管復旧工事、北波平地内において配水管布設工事をそれぞれ実施した。また、配水管布設工事に伴う消火栓設置工事を真壁小波蔵線、潮平地内において実施した。

令和3年度に、豊原・与座地内において水管橋布設工事、真栄里地内において配水管布設工事、名城地内において配水管移設工事、真壁地内において給配水管復旧工事をそれぞれ実施した。また、消火栓からの漏水による消火栓取り替え工事を真壁・照屋地内において実施した。更に、公共下水道・農業集落排水工事に伴う給配水管復旧工事を賀数・潮平・武富・真壁・摩文仁・大度・米須地区において実施し、旧糸満市役所に設置されていた構築物（外1カ所）の老朽化に伴い解体工事を実施した。

令和4年度に、豊原・与座・新垣地内において送水管布設工事、真壁地内において配水管布設替工事、照屋・真壁・大里地区において減圧弁取替及び修繕工事をそれぞれ実施した。また、消火栓取替修繕工事を真栄平・賀数地内において実施した。真壁地区においては、農業集落排水工事に伴う給配水管復旧工事を実施した。

令和5年度に、大度・糸満地内において配水管布設工事、真壁・兼城・福地地内において配水管布設替工事をそれぞれ実施した。また、各配水池及び各ポンプ場において水道施設監視カメラ改修工事、照屋・真壁地内において消火栓取替修繕工事、真壁地区においては、農業集落排水工事に伴う給配水管復旧工事を実施した。

1-2 令和5年度事業概要

1 概況

(1) 総括事項

(業務状況)

本年度の業務状況については、給水栓数が 27,284 栓で、前年度に比べ 189 栓(0.7%)増加し、給水人口も 62,211 人で前年度より 38 人(0.1%)の増加となっています。

また、年間総配水量は、7,157,190^mで、前年度に比べ 58,185^m(0.8%)の増加となり、一日平均配水量も 19,555^mで、前年度に比べ 106^mの増加となっています。

有収率については、95.6%で前年度 94.4%に比べ、1.2ポイントの増加となっています。

(工事状況)

建設工事うち収益的支出として、水道施設監視カメラ改修工事 17,600,000 円を各配水池及び各ポンプ場において実施し、消火栓取替修繕工事 752,000 円を照屋・真壁地内において実施しています。また、漏水修繕に伴い、糸満市全域において修繕工事 3,598,210 円を実施し、真壁地区においては、農業集落排水工事に伴う給配水管復旧工事 1,065,900 円を実施しております。

次に、資本的支出として、大度地内配水管布設工事 36,762,000 円、与那堀線配水管布設工事 1,771,000 円、真壁地区農業集落排水整備に伴う配水管布設替工事(その4)5,819,000 円、阿波根兼城線配水管改良工事(その1)3,399,000 円、福地第1地区ほ場整備に伴う配水管移設工事 11,330,000 円を実施しています。

(財政状況)

収益的収支については、水道事業収益 1,535,353,101 円(対前年度比2.4%増)水道事業費用 1,300,231,793 円(対前年度比 0.9% 減)となり、収支差引 235,121,308 円(対前年度比 48,534,494 円増)の純利益となっています。

また資本的収支については、資本的収入 277,142,757 円 に対して、資本的支出は 453,848,597 円で不足額は 176,705,840 円となっています。

この収支不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,184,900 円減債積立金 33,652,354 円、建設改良積立金 100,000,000 円、損益勘定留保資金 39,868,586 円で補填しました。

2 工 事

(1) 建設工事の概況(消費税込み)

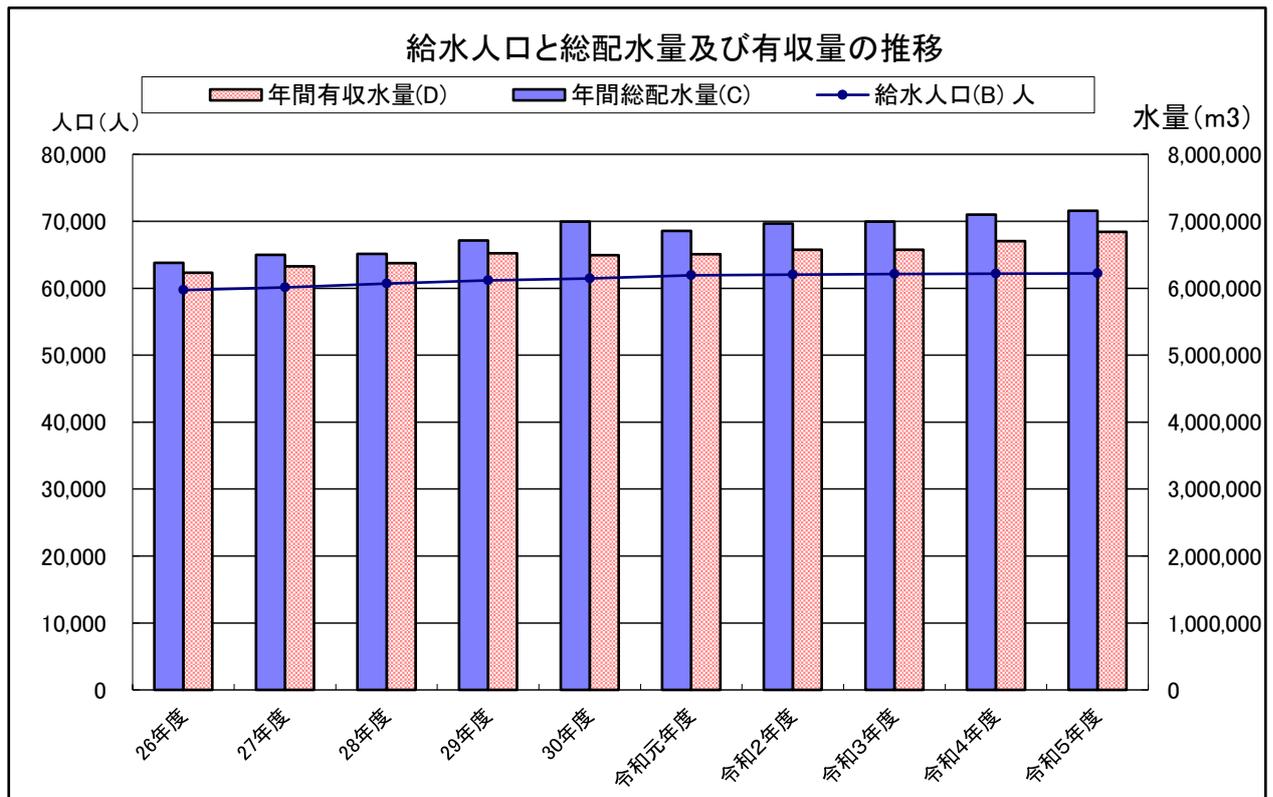
(資本的支出)(100万円以上)

(単位:円)

No.	工 事 名	契約月日	請負金額	契 約 相 手 方	工 事 概 要	執行方法
		工 期				
1	真壁地区農業集落排水整備に伴う配水管布設替工事その4 (糸満市字真壁地内)	令和5年4月19日	5,819,000	糸満市字真栄里483-2 株式会社 協亜建設 代表取締役 玉城 勝二	HPPE φ75L=111.4m HPPE φ50L=43.0m	随意契約
		自 令和5年4月20日				
		至 令和5年8月31日				
2	阿波根兼城線配水管改良工事(その1) (糸満市字兼城地内)	令和4年6月28日	3,399,000	糸満市字照屋1239番地1 20A 株式会社 翁長開発 代表取締役 翁長 英樹	HPPE φ75L=112.5m	随意契約
		自 令和5年6月28日				
		至 令和5年8月31日				
3	大度地内配水管布設工事 (糸満市字大度地内)	令和5年10月16日	36,762,000	糸満市西崎2丁目35番9号 有限会社 大城建設 代表取締役 大城 洋子	DCIP-GX φ75 L=2.2m DCIP-GX φ150 L=350.4m	指名競争入札
		自 令和5年10月17日				
		至 令和6年3月15日				
4	与那堀線配水管布設工事 (糸満市字糸満地内)	令和5年11月1日	1,771,000	糸満市西崎町3-27 101号室 株式会社 丸徳開発 代表取締役 儀間 長徳	DIP-GX φ100 L=35.8m	随意契約
		自 令和5年11月2日				
		至 令和6年2月16日				
5	福地第1地区ほ場整備に伴う配水管移設工事 (糸満市字福地地内)	令和5年11月24日	11,330,000	糸満市字真栄里94 有限会社 西崎プレキャスト 代表取締役 徳里 斉	DCIP-GX φ75 L=272.6m	指名競争入札
		自 令和5年11月24日				
		至 令和6年3月14日				

1-3 水道事業の推移

区分	単位	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
行政区内人口	人	62,211	62,173	62,126	62,025	61,938
行政区域内世帯数	戸	28,529	28,040	27,580	27,360	27,031
給水区域内人口(A)	人	62,211	62,173	62,126	62,025	61,938
給水人口(B)	人	62,211	62,173	62,126	62,025	61,938
給水栓数	栓	27,284	27,095	26,740	26,400	26,143
普及率(B/A)	%	100	100	100	100	100
年間総配水量(C)	m ³	7,157,190	7,099,005	6,993,078	6,963,970	6,854,422
1日平均配水量	m ³	19,555	19,449	19,159	19,079	18,728
1人1日平均配水量	L	314	313	308	308	310
年間有収水量(D)	m ³	6,842,626	6,705,014	6,574,601	6,575,238	6,507,156
有収率(D/C)	%	95.60	94.45	94.02	94.42	94.93
配水管総延長	m	373,189	373,700	372,086	371,780	369,375
消火栓数	栓	614	614	614	614	614
給水収益(E)	千円	1,370,983	1,264,493	1,294,012	1,225,444	1,290,713
経常費用(F)	千円	1,299,934	1,312,108	1,303,705	1,285,471	1,331,937
供給単価(E/D)	円	200.36	188.59	196.82	186.37	198.35
給水原価(F/D)	円	172.89	178.19	179.41	175.65	184.12



第2章 機 構

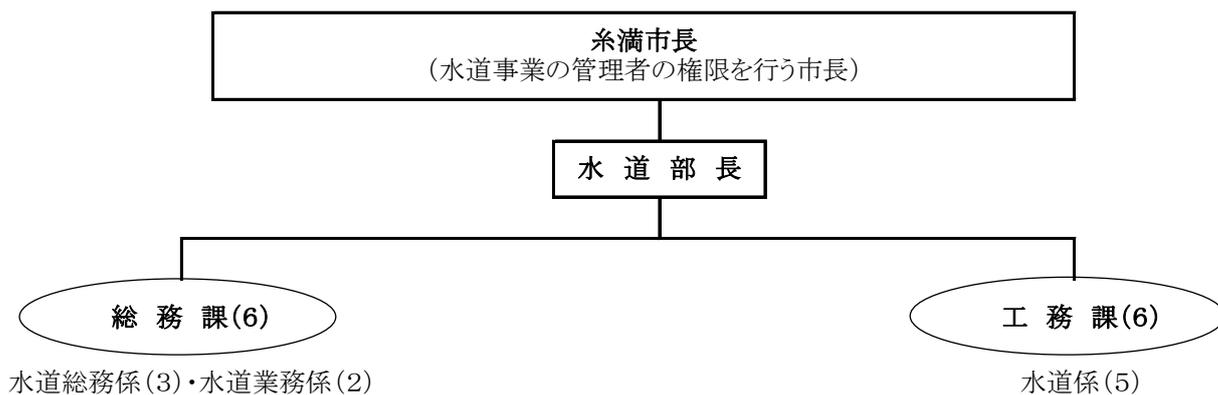
2-1 機構

2-2 事務分掌

2-3 職員構成

2-1 機 構

令和6年3月31日現在



	事務職	技術職	合 計
部 長	1	0	1
課 長	1	1	2
主 幹 兼 係 長 係 長	2	1	3
主 査	0	0	0
副 主 査	2	3	5
主 任 主 事	1	1	2
主 事	0	0	0
合 計	7	6	13
(会 計 年 度) (任 用 職 員)	1	1	2

◆機構の変遷()内の数値は職員数

昭和42年7月1日	水道係の設置(建設課、4)
昭和44年7月1日	水道課の設置(業務係・工務係、10)
昭和50年10月1日	水道部の設置(業務課・工務課、18)
平成4年4月1日	庶務課の設置(庶務課・業務課・工務課、22)
平成9年4月1日	水道局の設置(総務課・業務課・工務課、18)
平成14年4月1日	業務課の減(総務課・工務課、18)
平成15年4月1日	職員の減(総務課・工務課、17)
平成17年4月1日	「水道局」より「水道部」へ変更 職員の減(総務課・工務課、16)
平成20年4月1日	職員の減(総務課・工務課、15)
平成22年1月1日	職員の減(総務課・工務課、14)
平成23年4月1日	職員の減(総務課・工務課、13)
平成25年4月1日	係名の変更(水道総務係・水道業務係・水道係)
令和2年4月1日	職員の減(総務課・工務課、12)
令和4年4月1日	職員の増(総務課・工務課、13)

2-2 事務分掌

総務課 水道総務係

- 1 公印の新調、改刻、廃棄に関する事。
- 2 文書の收受、発送、整理保管に関する事。
- 3 水道事業の組織及び事務改善に関する事。
- 4 水道事業計画及び統計に関する事。
- 5 水道事業の財産の保管に関する事。
- 6 条例、規則及び規程等の制定、改廃に関する事。
- 7 職員の任免、分限、賞罰その他身分に関する事。
- 8 職員の給与に関する事。
- 9 職員の服務、勤務条件その他福利厚生に関する事。
- 10 職員の研修及び旅費に関する事。
- 11 職員の公務災害補償に関する事。
- 12 訴願、陳情及び議会に関する事。
- 13 資産の管理に関する事。
- 14 財政計画及び資金計画に関する事。
- 15 予算の編成及び執行管理に関する事。
- 16 決算の調整及び業務状況の公表に関する事。
- 17 現金及び有価証券の出納保管に関する事。
- 18 会計伝票及び附属書類の審査に関する事。
- 19 財産の取得、処分及び財産管理の調整に関する事。
- 20 企業債及び一時借入金に関する事。
- 21 物品の検収及び保管(使用中の物品を除く)並びに出納に関する事。
- 22 固定資産台帳の作成に関する事。
- 23 出納、収納取扱金融機関との契約に関する事。
- 24 水道料金の改定に関する事。
- 25 各課に関連する事務の総合調整に関する事。
- 26 所属車輛に関する事。
- 27 他課に属さない事項に関する事。

総務課 水道業務係

- 1 水道料金等の調定及び収納に関する事。
- 2 量水器の点検及び使用水量の認定に関する事。
- 3 水道料金の減免に関する事。
- 4 水道料金の改定資料に関する事。
- 5 水道料金収納事務及び検針業務の委託契約に関する事。
- 6 過誤納金の還付手続きに関する事。
- 7 給水の開始及び名義変更の受付に関する事。
- 8 量水器の開閉及び廃止に関する事。
- 9 電子計算業務(徴収台帳、消込等)に関する事。
- 10 水道料金の督促及び諸徴収に関する事。
- 11 水道料金に対する異議申立の処理に関する事。
- 12 無断使用水、その他給水条例違反取締りに関する事。
- 13 下水道使用料の受託に関する事。
- 14 不納欠損処分に関する事。
- 15 業務統計資料作成に関する事。
- 16 大口需要者の節水に関する事。
- 17 課の予算及び庶務に関する事。
- 18 不良メーターに関する事。
- 19 所属車輛の管理に関する事。

工務課 水道係

- 1 水道基本施設の計画、調査設計に関する事。
- 2 水道基本施設工事に伴う諸手続き及び施工監督に関する事。
- 3 図面及び工事台帳の整備保管に関する事。
- 4 国庫補助金申請に関する事。
- 5 水道部への施設譲渡に関する事。
- 6 事業の変更認可申請に関する事。
- 7 受水に関する事。
- 8 道路占用及び使用に関する事。
- 9 給水装置の調査設計施行監督に関する事。
- 10 給水装置工事の申込に関する事。
- 11 給水施設の検査に関する事。
- 12 給水装置工事に伴う諸費用の精算に関する事。
- 13 主任技術者及び配管工技能者の試験に関する事。
- 14 給水工事指定店の申請に関する各種書類審査に関する事。
- 15 資材の購入検収、保管、受払いに関する事。
- 16 資材倉庫の管理に関する事。
- 17 量水器台帳の作成及び整理並びに保管に関する事。
- 18 配水管及び給水装置の維持管理に関する事。
- 19 漏水防止の計画及び実施に関する事。
- 20 消火栓の補修に関する事。
- 21 量水器の取替えに関する事。
- 22 水質検査に関する事。
- 23 量水器及び止水栓埋没の改良に関する事。
- 24 配水管及び給水管の破損による損害賠償の請求に関する事。
- 25 ポンプ場の維持管理に関する事。
- 26 量水器の点検及び調査に関する事。
- 27 漏水対策に関する事。
- 28 課の予算及び庶務に関する事。
- 29 所属車輛に関する事。

2-3 職員構成

令和6年3月31日現在

(1) 勤続年数			
年数 \ 職種	事務職	技術職	合計
1年未満			
1年以上～3年未満	2	4	6
3年〃～6年〃	5	2	7
6年〃～9年〃	1	1	2
9年〃～12年〃			
12年〃～15年〃			
15年〃～18年〃			
18年〃～20年〃			
20年以上			
合計	8	7	15
平均	3年6月	3年1月	3年4月

(2) 給料 (3月)			
基本給 \ 職種	事務職	技術職	合計
15万円未満	1		1
15万円以上～20万円未満			
20万円〃～25万円〃		2	2
25万円〃～30万円〃		3	3
30万円〃～35万円〃	2		2
35万円〃～40万円〃	4	2	6
40万円以上	1		1
合計	8	7	15
平均 (円)	336,792円	286,365円	313,259円

(3) 年齢			
年齢 \ 職種	事務職	技術職	合計
20歳未満			
20歳以上～25歳未満			
25歳〃～30歳〃			
30歳〃～35歳〃		1	1
35歳〃～40歳〃			
40歳〃～45歳〃	2	4	6
45歳〃～50歳〃	2		2
50歳以上	4	2	6
合計	8	7	15
平均	50歳2月	46歳9月	48歳7月

第3章 施 設

3-1 年度別管路延長

3-2 令和5年度固定資産明細書

3-3 配水池及びポンプ施設

3-1 年度別管路延長

単位:m

工種	品 種	形状 寸法	H28まで の小計	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	合 計
送水管	DCIP(k)	φ 600m/m	4,176								4,176
	DCIP(NS)	〃				612	690	34	1,023		2,359
	DCIP(k)	φ 400m/m	3,732								3,732
	DCIP(A)	φ 200m/m	2,524								2,524
	〃	φ 150m/m	36								36
	〃	φ 100m/m	0								0
	〃	φ 75m/m	796								796
水管橋	DCIP	φ 600m/m	53								53
	SUS	φ 600m/m						40			40
	WEETDA	φ 100m/m						52			52
小 計		11,317			612	690	126	1,023		13,768	
配水管	DCIP(k)	φ 600m/m	1,056								1,056
	〃	φ 500m/m	1,080								1,080
	〃	φ 400m/m	1,372								1,372
	DCIP(k)	φ 350m/m	3,366			△ 416					2,950
	〃	φ 300m/m	271								271
	〃	φ 250m/m	5,208	△ 170	△ 1,383						3,655
	〃	φ 200m/m	20,756	△ 229							20,527
	〃	φ 150m/m	25,882	△ 42	△ 807	△ 114	△ 980				23,939
	〃	φ 100m/m	21,467			△ 623		△ 238			20,606
	〃	φ 75m/m	43,964			△ 218	△ 84			△ 279	43,383
	DCIP(GX)	φ 250m/m	1,011	399	1,993						3,403
	〃	φ 200m/m	903		293		967		78		2,241
	〃	φ 150m/m	0	42	100	529		166	44	350	1,231
	〃	φ 100m/m	5	348	110	76	679	72	316	36	1,642
	〃	φ 75m/m	0	130	26	120	92		66	277	711
	DCIP(NS)	φ 350m/m	57			814	740				1,611
	〃	φ 200m/m	1								1
	HIVP	φ 150m/m	11,646								11,646
	〃	φ 100m/m	35,718								35,718
	〃	φ 75m/m	40,332	△ 130		△ 109	△ 218				39,875
〃	φ 50m/m	101,176	△ 78		95	△ 706	△ 172			100,315	
HPPE	φ 150m/m	2,215			113					2,328	
〃	φ 100m/m	5,703	281		479		72	331		6,866	
〃	φ 75m/m	12,973		20	215	430	49	467	224	14,377	
〃	φ 50m/m	14,097	78	74	13	795	231	251	43	15,582	
SGP-VB	φ 50m/m	4,172	△ 281							△ 1,162	2,729
鋼帯ポリP	φ 200m/m	47									47
	φ 150m/m	75									75
水管橋	NCP	φ 400m/m	53								53
	〃	φ 300m/m	72								72
	〃	φ 200m/m	59								59
小 計		354,737	348	426	974	1,715	180	1,552	△ 511	359,421	
合 計		366,054	348	426	1,586	2,405	306	2,575	△ 511	373,189	

3-2 令和5年度 固定資産明細書

(1)有形固定資産

資産の種類	年度当初 現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	148,214,275	0	0	148,214,275
建物	597,898,016	0	0	597,898,016
構築物	10,350,893,235	65,221,750	14,302,707	10,401,812,278
取水導水施設	175,884,521	0	0	175,884,521
浄水送水施設	373,214,423	0	0	373,214,423
配水給水施設	9,375,578,850	57,889,014	14,302,707	9,419,165,157
その他構築物	426,215,441	7,332,736	0	433,548,177
機械及び装置	1,404,868,154	14,810,019	11,035,290	1,408,642,883
電気設備	80,317,242	0	0	80,317,242
計測設備	975,814,478	0	0	975,814,478
ポンプ設備	230,045,121	0	0	230,045,121
量水器	104,141,178	14,810,019	11,035,290	107,915,907
その他機械及び装置	14,550,135	0	0	14,550,135
車輛運搬具	9,256,431	0	0	9,256,431
工具器具及び備品	27,335,188	247,000	0	27,582,188
建設仮勘定	112,016,457	95,558,663	59,633,014	147,942,106
合計	12,650,481,756	175,837,432	84,971,011	12,741,348,177

(2)無形固定資産

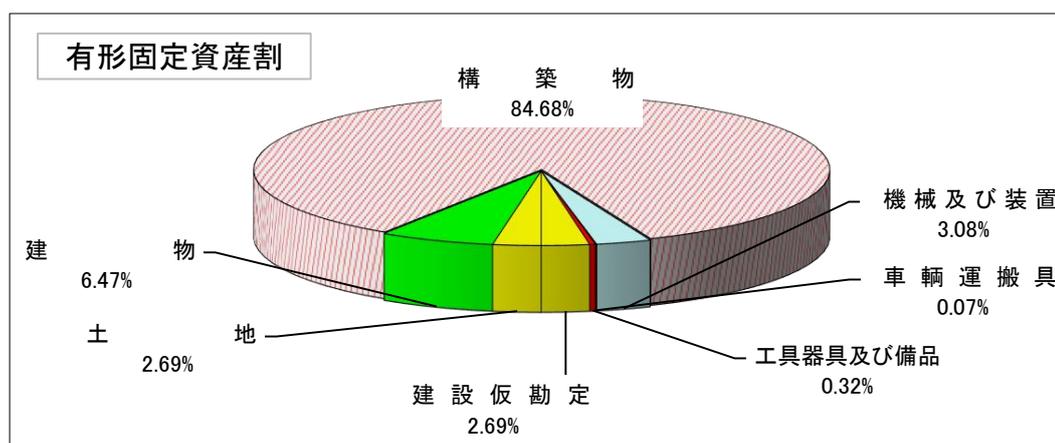
資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度 減価償却額	年度末現在高
電話加入権	268,700	0	-	268,700

(3)投資

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
出資金	231,000	0	0	231,000
他会計貸付金	1,299,873,700	300,000,000	206,792,900	1,393,080,800
合計	1,300,104,700	300,000,000	206,792,900	1,393,311,800

単位:円

減価償却累計額				年度末 償却未済額
前年度末累計額	当年度増加額	当年度減少額	累 計	
0	0			148,214,275
229,636,258	12,373,968	0	242,010,226	355,887,790
5,541,314,354	212,373,193	13,105,107	5,740,582,440	4,661,229,838
166,243,750	679,182	0	166,922,932	8,961,589
254,784,969	6,580,988	0	261,365,957	111,848,466
4,811,954,446	199,751,089	13,105,107	4,998,600,428	4,420,564,729
308,331,189	5,361,934	0	313,693,123	119,855,054
1,236,465,906	12,757,342	9,931,760	1,239,291,488	169,351,395
74,702,853	183,249	0	74,886,102	5,431,140
891,793,500	1,235,400	0	893,028,900	82,785,578
217,416,564	0	0	217,416,564	12,628,557
46,014,844	10,474,414	9,931,760	46,557,498	61,358,409
6,538,145	864,279	0	7,402,424	7,147,711
3,582,353	2,079,255	0	5,661,608	3,594,823
7,072,672	2,793,408	0	9,866,080	17,716,108
0	0	0	-	147,942,106
7,018,071,543	242,377,166	23,036,867	7,237,411,842	5,503,936,335



3-3 配水池及びポンプ施設

(1) 与座配水池

位 置	糸満市字与座1791番地
竣工年月日	昭和53年3月15日
配水地域	三和地区、高嶺地区
標 高	GL=144.9m
構 造	PC 造
形状寸法	φ 29.50 m
有効水深	H=8.8 m
有効容量	V=6,000 m ³
滞留時間	15.6 時間
水 位	H・W・L= 153.30m L・W・L= 144.50m
池 数	1 池



一番容量の大きい配水池で、非常時には市内全域に給水します。

(2) 潮平配水池

位 置	糸満市字潮平345番地1
竣工年月日	昭和56年2月28日
配水地域	西崎地区
標 高	GL=61.5m
構 造	PC 造
形状寸法	φ 22.00 m
有効水深	H=8.0 m
有効容量	V=3,000 m ³
水 位	H・W・L= 69.50m L・W・L= 61.50m
池 数	1 池



住宅地にあり景観に配慮しました。手前が緊急遮断弁室。

(3) 照屋配水池

位 置	糸満市字照屋252番地
竣工年月日	昭和62年2月28日
配水地域	糸満地区
標 高	GL=56.80m
構 造	PC 造
形状寸法	φ 14.00 m
有効水深	H=11.4 m
有効容量	V=1,750 m ³
滞留時間	9.8 時間
水 位	H・W・L= 68.65m L・W・L= 57.25m
池 数	1 池



最も人口密度が高い糸満地区に給水しています。右側が緊急遮断弁室。

(4) 与座ポンプ場

位置 糸満市与座378番地3
 竣工年月日 昭和54年2月28日
 標高 GL=37.0
 構造 PC 造
 面積 A=862.45㎡



県企業局から受けた水を、高台にある3つの配水池に送水。

与座送水ポンプ

送水地域	与座配水池、潮平配水池、兼城地区(一部)	
竣工年月日	平成9年3月14日(2基)	平成8年2月28日(2基) 平成9年3月14日(1基)
型式	地上式多段ポンプ	地上式多段ポンプ
口径	φ200	φ200
揚水量	Q= 7.631m ³ /分	Q= 4.866m ³ /分
全揚程	H= 101m	H= 62m
出力	P= 190kw	P= 75kw
台数	2基	3基



中央監視制御システム(計装設備)

24時間体制で配水池への送水状況を集中監視しています。



5基のポンプで毎日およそ18,000m³の水を送水しています。

(5) 北波平ポンプ場

位置 糸満市字北波平719番地
 竣工年月日 平成9年3月14日
 送水地域 兼城地区(一部)
 標高 GL=53m
 構造 PC 造
 口径 φ100
 全揚程 H= 64m
 出力 P= 18.5kw
 台数 2基



宇武富一帯の高台へ毎日およそ600m³を送水しています。

(6) 八重瀬配水池

位 置	八重瀬町富盛2564番地2
竣工年月日	平成16年3月10日
送水地域	字真栄平・摩文仁地区
標高	GL=148.76m
構造	PC 造
形状寸法	φ 12.7
有効水深	H=6.0 m
有効容量	V=750 m ³
滞留時間	12.0 時間
水位	H・W・L= 155.00m L・W・L= 149.00m
池 数	1 池



字真栄平・摩文仁地区へ給水。

(7) 大里送水ポンプ場

位 置	糸満市字大里1670番地3
竣工年月日	平成17年2月
送水地域	字摩文仁地区
標高	GL=85.8m
構造	CO 造
口径	φ 100
全揚程	H=78 m
出力	P=30kw
台数	2基
吐出し量	1 . 1 5 (m ³ /min)



八重瀬配水池へ2基のポンプで送水。

(8) 潮平第2配水池

位 置	糸満市字潮平341番地5 " 342番地,344番地2
竣工年月日	平成19年2月
送水地域	西崎町・潮平
標高	GL=64.55m
構造	PC 造
形状寸法	φ 15.5
有効水深	H=8.0m
有効容量	V=1500m ³
水位	H・W・L=73.1m L・W・L=65.1m
池 数	1 池



使用水量が多い西崎・潮平・国道331号沿いのより一層の安定給水が図られる。

第4章 給水装置統計

4-1 配水施設修繕状況

4-2 給水施設修繕状況

4-3 漏水調査状況

4-4 水質検査結果表

4-5 量水器取替状況

4-1 配水施設修繕状況

単位：件

区分	铸铁管	鋼管	塩ビ管	ポリ管	弁類	消火栓	室類	改良	他工事の 為移動等	その他	計
業者	1	0	1	0	5	3	2	0	4	7	23
直営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4-2 給水施設修繕状況

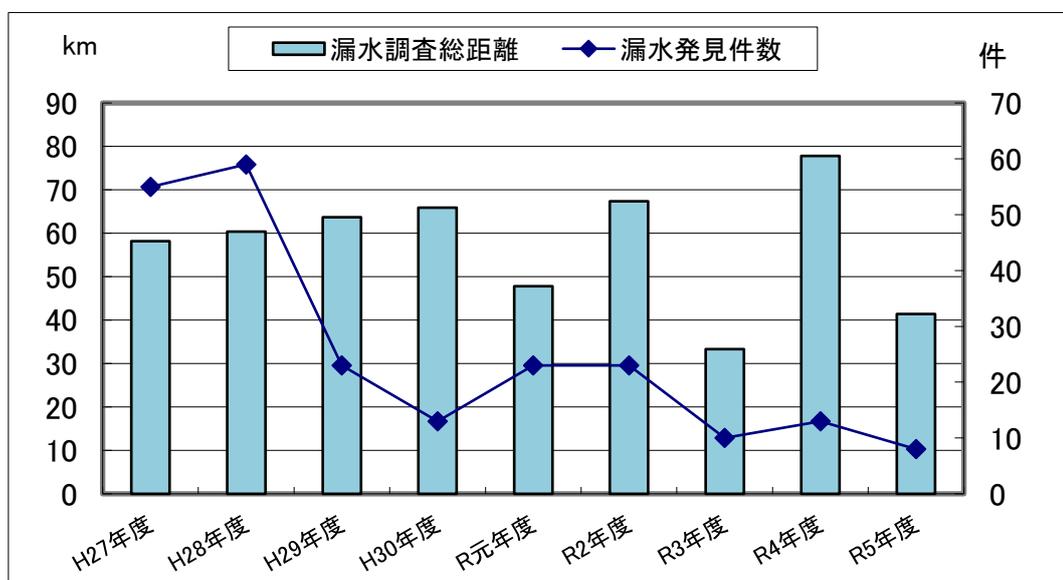
単位：件

区分	鉛管	塩ビ管	鋼管	ポリ管	止水栓	分水栓	パッキン 量水器	改良	調漏 査水	他工事の 為移動等	その他	計
業者	0	4	0	1	0	0	0	20	8	9	0	42
直営	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4-3 漏水調査状況

単位：件

配水管漏水調査総距離	発見件数			
	給水管	配水管	バルブ・その他	合計
	41.40 km	6	2	0



4-4 水質検査結果表(3-1)

浄水場系統		石川浄水場系統			
採水箇所		8カ所(右表の地点)			
検査回数		全項目検査 1回(7月)、月例検査 12回、3ヶ月毎検査4回			
検査項目	採水地点	糸・豊し尿処理場			水質基準値
	採水年月日	R5. 4. 24	R5. 7. 24	R6. 1. 29	
	天候	晴れ	晴れ	晴れ	
	気温(℃)	27.6	33.1	19.2	
	水温(℃)	22.9	28.3	23.0	
1	一般細菌	0	0	0	100個/ml以下
2	大腸菌群	陰性	陰性	陰性	検出されない
3	カドミウム及びその化合物	-	0.0003未満	-	0.003mg/l以下
4	水銀及びその化合物	-	0.00005未満	-	0.0005mg/l以下
5	セレン及びその化合物	-	0.001未満	-	0.01mg/l以下
6	鉛及びその化合物	-	0.001未満	-	0.01mg/l以下
7	ヒ素及びその化合物	-	0.001未満	-	0.01mg/l以下
8	六価クロム化合物	-	0.002未満	-	0.02mg/l以下
9	亜硝酸態窒素	-	0.004未満	-	0.04mg/l以下
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01mg/l以下
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	-	0.06	-	10mg/l以下
12	フッ素及びその化合物	-	0.05未満	-	0.8mg/l以下
13	ホウ素及びその化合物	-	0.01	-	1.0mg/l以下
14	四塩化炭素	-	0.0001未満	-	0.002mg/l以下
15	1,4-ジオキサン	-	0.005未満	-	0.05mg/l以下
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	-	0.0001未満	-	0.04mg/l以下
17	ジクロロメタン	-	0.0001未満	-	0.02mg/l以下
18	テトラクロロエチレン	-	0.0001未満	-	0.01mg/l以下
19	トリクロロエチレン	-	0.0001未満	-	0.01mg/l以下
20	ベンゼン	-	0.0001未満	-	0.01mg/l以下
21	塩素酸	0.07	0.10	0.07	0.6mg/l以下
22	クロロ酢酸	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.02mg/l以下
23	クロロホルム	0.0050	0.011	0.0038	0.06mg/l以下
24	ジクロロ酢酸	0.002未満	0.003	0.002未満	0.03mg/l以下
25	ジブromoklorometan	0.012	0.014	0.018	0.1mg/l以下
26	臭素酸	0.0005	0.001	0.0005	0.01mg/l以下
27	総トリハロメタン	0.032	0.044	0.039	0.1mg/l以下
28	トリクロロ酢酸	0.002未満	0.004	0.002未満	0.03mg/l以下
29	ブromodichlorometan	0.010	0.015	0.0011	0.03mg/l以下
30	ブromoholm	0.0048	0.0044	0.0063	0.09mg/l以下
31	ホルムアルデヒド	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.08mg/l以下

4-4 水質検査結果表(3-2)

浄水場系統		石川浄水場系統			
採水箇所		8カ所(右表の地点)			
検査回数		全項目検査 1回(7月)、月例検査12回、3ヶ月毎検査4回			
検査項目	採水地点	糸・豊し尿処理場			水質基準値
	採水年月日	R5.4.24	R5.7.24	R6.1.29	
	天候	晴れ	晴れ	晴れ	
	気温(℃)	27.6	33.1	19.2	
	水温(℃)	22.9	28.3	23.0	
32	亜鉛及びその化合物	-	0.01未満	-	1.0mg/1以下
33	アルミニウム及びその化合物	0.04	0.050	0.03	0.2mg/1以下
34	鉄及びその化合物	-	0.03未満	-	0.3mg/1以下
35	銅及びその化合物	-	0.01未満	-	1.0mg/1以下
36	ナトリウム及びその化合物	-	14.6	-	200mg/1以下
37	マンガン及びその化合物	-	0.005未満	-	0.05mg/1以下
38	塩化物イオン	20.2	21.3	27.7	200mg/1以下
39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	-	28.0	-	300mg/1以下
40	蒸発残留物	-	89	-	500mg/1以下
41	陰イオン界面活性剤	-	0.02未満	-	0.2mg/1以下
42	ジオオスミン	-	0.000001未満	-	0.00001mg/1以下
43	2-メチルイソボルネオール	-	0.000001未満	-	0.00001mg/1以下
44	非イオン界面活性剤	-	0.002未満	-	0.02mg/1以下
45	フェノール類	-	0.0005未満	-	0.005mg/1以下
46	有機物(TOC)	0.7	0.9	0.7	3mg/1以下
47	pH	7.6	7.6	7.5	5.8以上-8.6以下
48	味	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
49	臭	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
50	色度	0.5未満	0.5未満	0.6	5度以下
51	濁度	0.2未満	0.2未満	0.2未満	2度以下

4-4 水質検査結果表(3-3)

採水箇所	字糸満 字与座	潮崎町 字武富	西崎町 字喜屋武	字北波平 字摩文仁
------	------------	------------	-------------	--------------

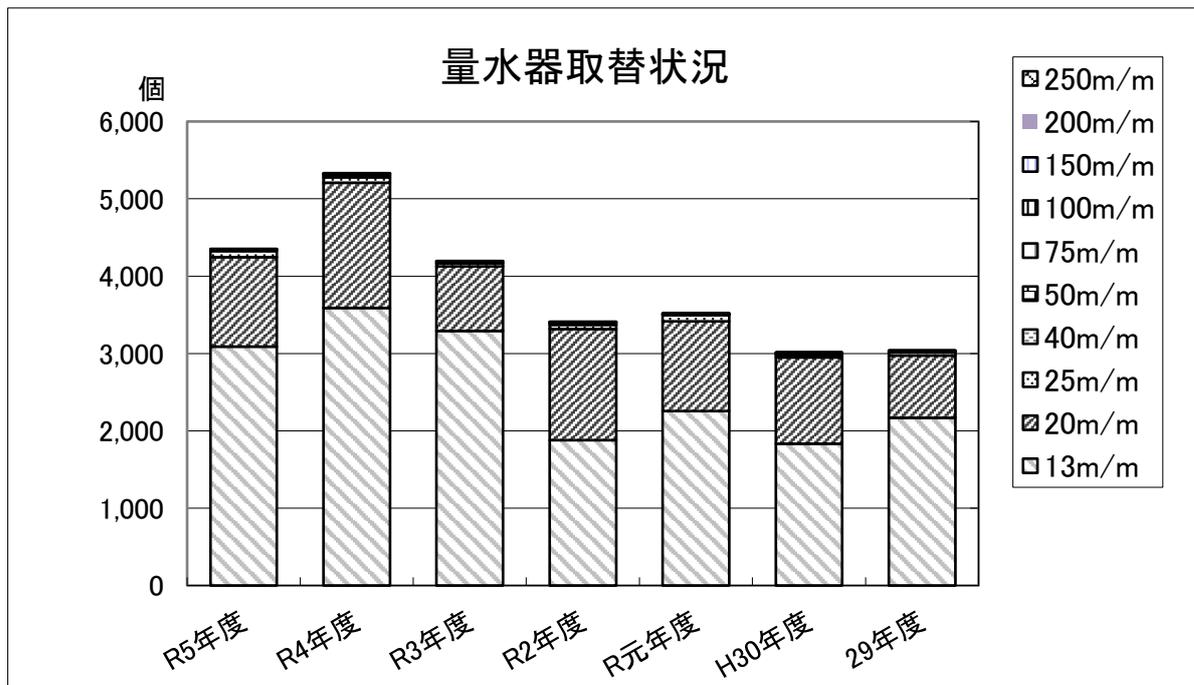
検査項目	採水地点		糸・豊し尿処理場	
	採水年月日		R5.7.24	
	天候		晴れ	
	気温(℃)		33.1	
	水温(℃)		28.3	
		目標値		
1	水質管理目標設定項目	アンチモン及びその化合物	0.001未満	0.02mg/1以下
2		ウラン及びその化合物	0.0002未満	0.002mg/1以下(暫定)
3		ニッケル及びその化合物	0.001未満	0.02mg/1以下
4		1、2-ジクロロエタン	---	0.004mg/1以下
5		トルエン	---	0.4mg/1以下
6		フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.005未満	0.08mg/1以下
7		亜塩素酸	---	0.6mg/1以下
8		二酸化塩素	---	0.6mg/1以下
9		ジクロロアセトニトリル	0.001未満	0.01mg/1以下(暫定)
10		抱水クロラール	0.003	0.02mg/1以下(暫定)
11		農薬類	---	検出値と目標値の比の和として、1以下
12		残留塩素	0.48	1mg/1以下
13		カルシウム・マグネシウム(硬度)	28	10mg/1以上100mg/1以下
14		マンガン及びその化合物	0.005未満	0.01mg/1以下
15		遊離炭酸	2.4	20mg/1以下
16		1、1、1-トリクロロエタン	0.0001未満	0.3mg/1以下
17		メチル-tert-ブチルエーテル	---	0.02mg/1以下
18		有機物等	1.9	3mg/1以下
19		臭気強度(TON)	1	3以下
20		蒸発残留物	89	30mg/1以上200mg/1以下
21		濁度	0.2未満	1度/1以下
22		PH値	7.6	7.5程度
23		腐食性(ランゲリア指数)	-1.4	-1程度以上とし、極力0に近づける
24		従属栄養細菌	0	2000個/ml以下(暫定)
25		1、1-ジクロロエチレン	---	0.1mg/1以下
26		アルミニウム及びその化合物	0.05	0.1mg/1以下
27		PFOS及びPFOA	0.000001未満	0.00005mg/1以下(暫定)

※検査値は市内8ヶ所の内のひとつ「糸・豊し尿処理場」の数値の一部を掲載しています。

4-5 量水器取替状況

単位:個

口径別 月別	13m/m	20m/m	25m/m	40m/m	50m/m	75m/m	100m/m	150m/m	200m/m	250m/m	月別 合計
令和5年4月					2	1					3
5月											0
6月	595										595
7月	497	107	9								613
8月	214	406		2							622
9月	310	183	13	3							509
10月	18	462	17	8							505
11月	379		38	10							427
12月	495										495
令和6年1月	580										580
2月											0
3月					3						3
口径別合計	3,088	1,158	77	23	5	1	0	0	0	0	4,352



第5章 業務統計

5-1 受水量及び有収水量

5-2 受水費及び給水収益

5-3 用途別栓数

5-4 用途別有収水量

5-5 用途別調定額(水道使用料)

5-6 開閉栓状況

5-7 水道料金収納状況

5-1 受水量及び有収水量

項目 月	暦日数	受水日数	受水量 (m^3)	有効水量 (m^3)			無効水量 (m^3)	有効率 (%)	無効率 (%)
				有収水量	無収水量	合計			
R5年4月	30	30	575,950	564,737	5,840	570,577	5,373	99.07	0.93
5月	31	31	605,350	551,349	6,305	557,654	47,696	92.12	7.88
6月	30	30	595,030	583,734	6,030	589,764	5,266	99.11	0.89
7月	31	31	626,780	574,173	6,327	580,500	46,280	92.62	7.38
8月	31	31	575,480	587,485	5,998	593,483	△ 18,003	103.13	△ 3.13
9月	30	30	596,950	584,724	6,135	590,859	6,091	98.98	1.02
10月	31	31	616,230	567,538	6,390	573,928	42,302	93.14	6.86
11月	30	30	597,080	584,011	6,251	590,262	6,818	98.86	1.14
12月	31	31	614,400	566,342	6,328	572,670	41,730	93.21	6.79
R6年1月	31	31	604,120	575,212	6,083	581,295	22,825	96.22	3.78
2月	29	29	564,640	570,768	5,692	576,460	△ 11,820	102.09	△ 2.09
3月	31	31	585,180	532,553	6,028	538,581	46,600	92.04	7.96
合計	366	366	7,157,190	6,842,626	73,404	6,916,030	241,160	96.63	3.37
最小値	29	29	564,640	532,553	5,692	538,581	△ 18,003	92.04	△ 3.13
最大値	31	31	626,780	587,485	6,390	593,483	47,696	103.13	7.96
平均	31	31	596,433	570,219	6,117	576,336	20,097	96.63	3.28

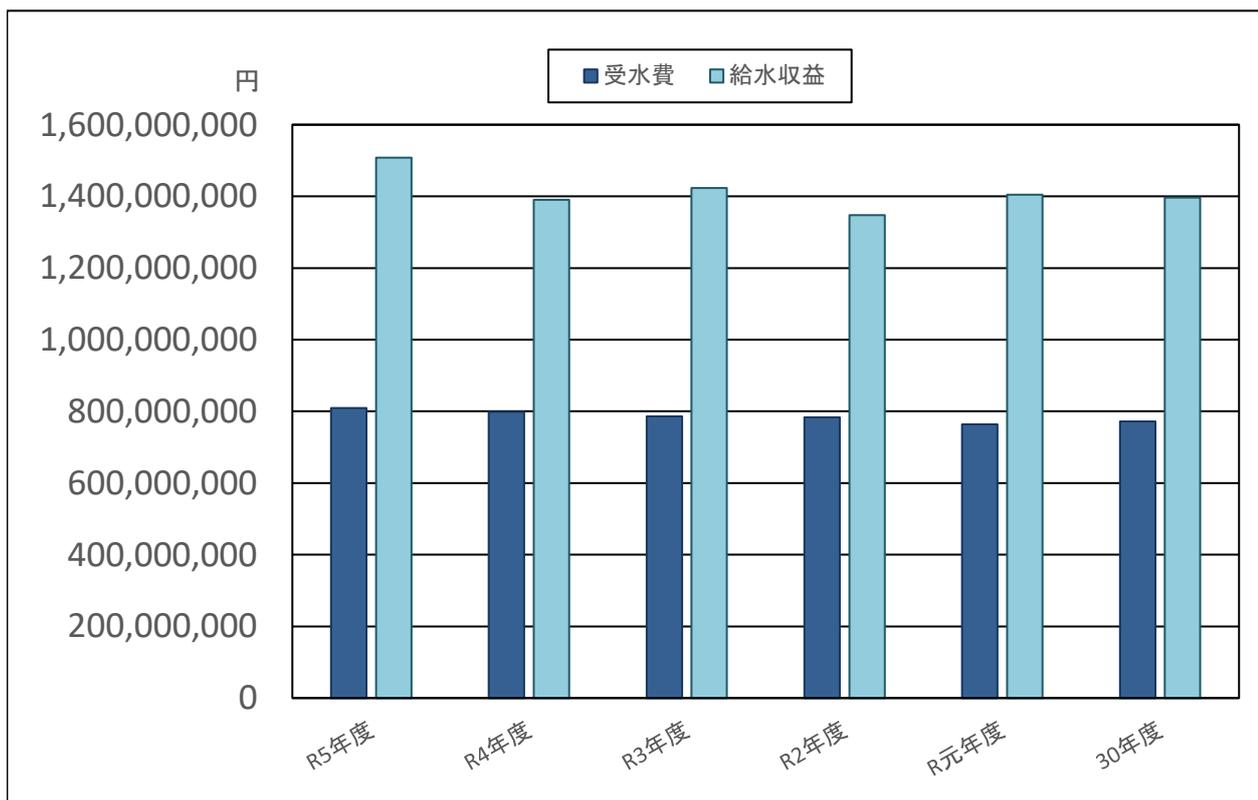
※沖縄県と糸満市の検針日のずれにより、月によってはマイナスの無効水量が算出されている。

用語	説明
受水量	県企業局から送水された(受けた)水量。
有収水量	収入として調定(算定)した水量。
無収水量	使用したが収入とならない水量。消防用水、送配水管の洗浄用水など。
無効水量	受水量-(有収水量+無収水量)。原因は漏水など。

5-2 受水費及び給水収益

(税込)

項目 月	受水費 (費用)		給水収益 (収入)		有収率 (%)	調定栓数 (栓)
	水量 (m ³)	金額 (円)	水量 (m ³)	金額 (円)		
R5年4月	575,950	64,779,264	564,737	123,993,637	98.05	26,932
5月	605,350	68,081,207	551,349	121,005,007	91.08	26,990
6月	595,030	66,925,077	583,734	129,259,918	98.10	27,005
7月	626,780	70,495,809	574,173	126,992,683	91.61	27,037
8月	575,480	69,332,031	587,485	129,370,400	102.09	27,100
9月	596,950	67,136,509	584,724	128,722,326	97.95	27,129
10月	616,230	69,310,438	567,538	125,993,089	92.10	27,115
11月	597,080	67,164,625	584,011	129,296,785	97.81	27,124
12月	614,400	69,104,629	566,342	125,155,119	92.18	27,123
R6年1月	604,120	67,947,374	575,212	126,136,192	95.21	27,085
2月	564,640	63,509,545	570,768	125,115,493	101.09	27,123
3月	585,180	65,817,306	532,553	116,822,993	91.01	27,284
合計	7,157,190	809,603,814	6,842,626	1,507,863,642	95.60	325,047



5-3 用途別栓数

単位：個

	家庭用	営業用	官公署用	船舶用	臨時用等	共同用	合計
R5年4月	23,561	2,399	136	3	271	562	26,932
5月	23,607	2,409	139	3	270	562	26,990
6月	23,595	2,411	141	3	293	562	27,005
7月	23,640	2,410	143	3	280	561	27,037
8月	23,719	2,427	139	3	249	563	27,100
9月	23,699	2,438	140	3	283	566	27,129
10月	23,721	2,439	134	3	252	566	27,115
11月	23,736	2,428	133	3	256	568	27,124
12月	23,742	2,451	132	3	229	566	27,123
R6年1月	23,745	2,432	132	3	204	569	27,085
2月	23,753	2,443	132	3	225	567	27,123
3月	23,846	2,445	132	3	292	566	27,284
合計	284,364	29,132	1,633	36	3,104	6,778	325,047
比率(%)	87.48	8.96	0.50	0.01	0.96	2.09	100.00

5-4 用途別有収水量

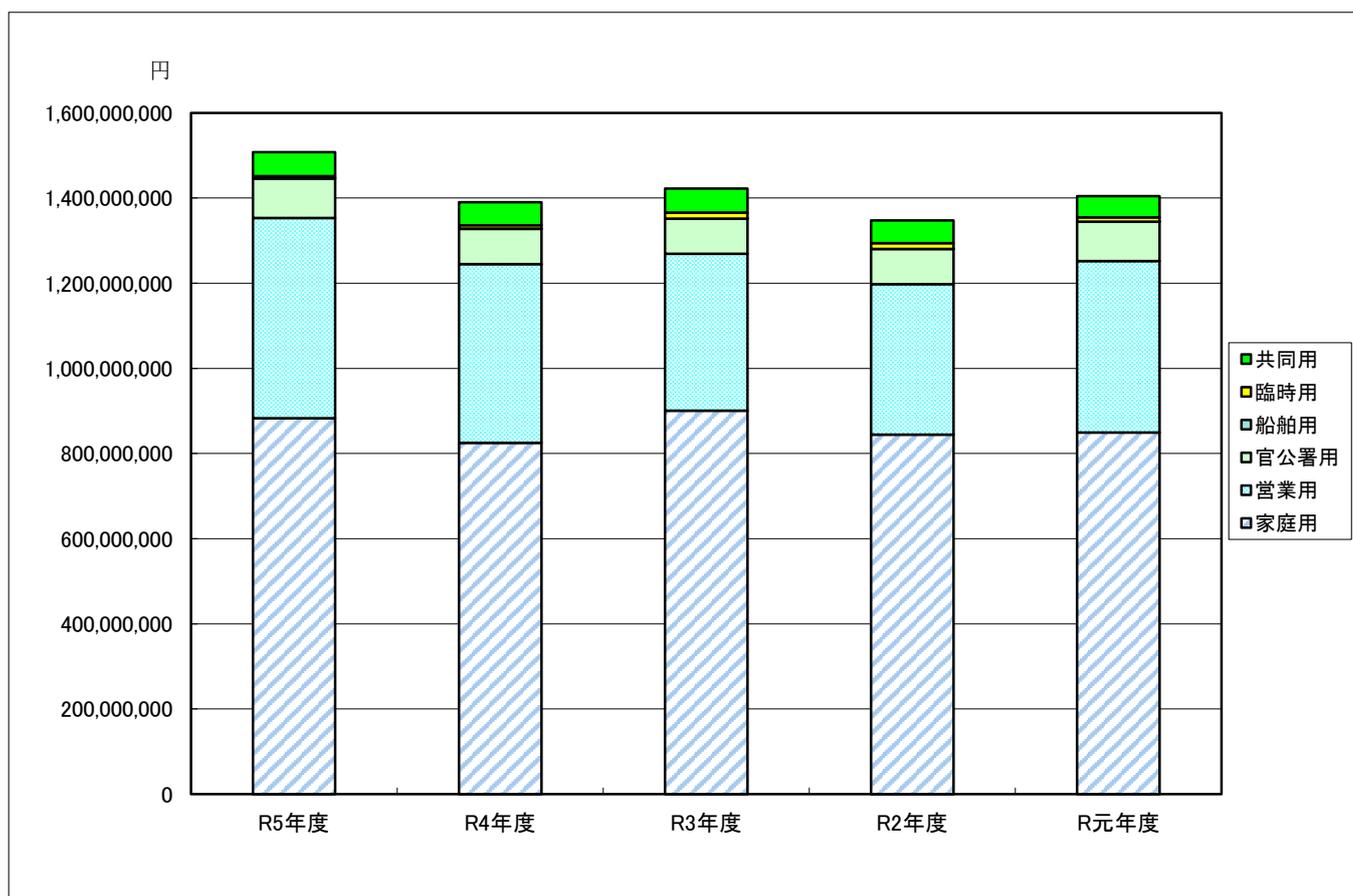
単位：m³

	家庭用	営業用	官公署用	船舶用	臨時用等	共同用	合計
R5年4月	395,021	127,959	21,504	136	883	19,234	564,737
5月	384,963	123,114	23,670	155	880	18,567	551,349
6月	400,585	128,585	33,781	533	1,113	19,137	583,734
7月	392,453	130,257	31,254	220	1,067	18,922	574,173
8月	409,627	130,727	26,836	144	865	19,286	587,485
9月	405,858	137,279	21,341	235	911	19,100	584,724
10月	385,350	134,010	28,665	160	853	18,500	567,538
11月	400,278	139,200	24,414	59	902	19,158	584,011
12月	389,817	133,229	23,540	100	878	18,778	566,342
R6年1月	406,676	125,819	22,616	40	629	19,432	575,212
2月	403,139	123,109	23,836	41	884	19,759	570,768
3月	371,543	117,401	24,246	141	948	18,274	532,553
合計	4,745,310	1,550,689	305,703	1,964	10,813	228,147	6,842,626
比率(%)	69.35	22.66	4.47	0.03	0.16	3.33	100.00

5-5 用途別調定額（水道使用料）

（税込） 単位：円

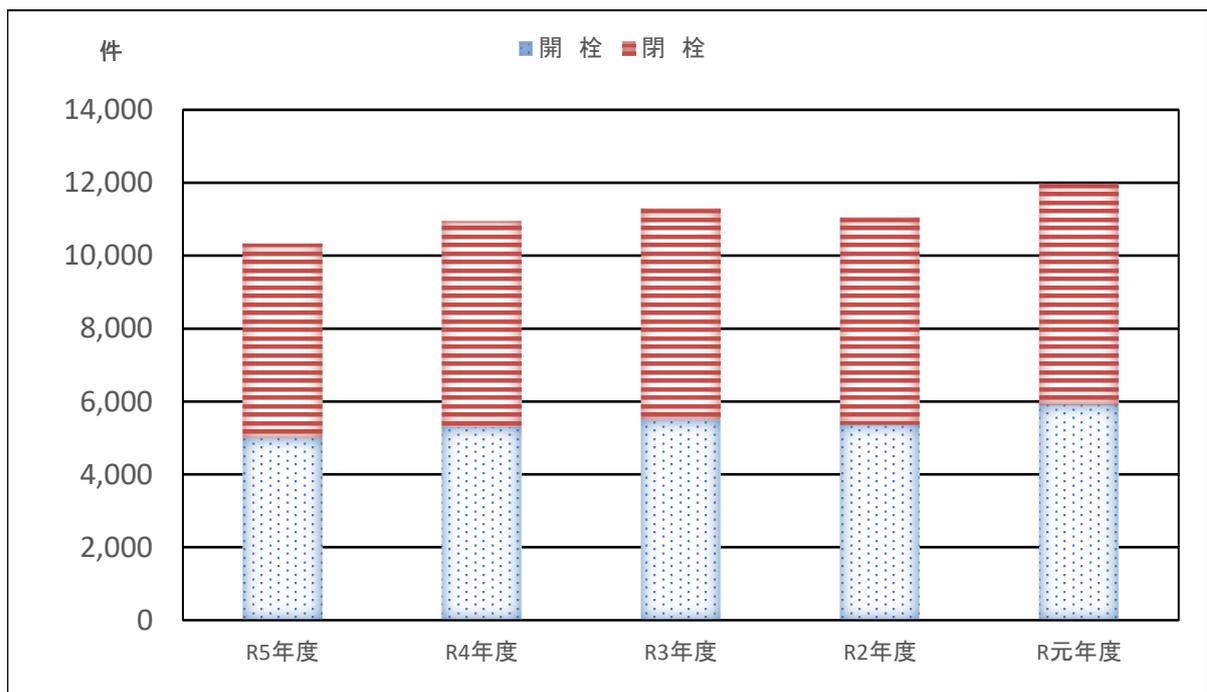
	家庭用	営業用	官公署用	船舶用	臨時用等	共同用	合計
R5年4月	73,573,785	38,716,563	6,489,252	49,504	404,414	4,760,119	123,993,637
5月	71,467,230	37,340,179	7,153,630	56,420	403,040	4,584,508	121,005,007
6月	74,673,475	38,930,693	10,241,449	194,012	509,754	4,710,535	129,259,918
7月	72,865,440	39,464,530	9,456,434	80,080	488,686	4,637,513	126,992,683
8月	76,420,627	39,623,339	8,120,923	52,416	396,170	4,756,925	129,370,400
9月	75,476,598	41,594,133	6,450,991	85,540	417,238	4,697,826	128,722,326
10月	71,509,724	40,768,591	8,699,112	58,240	390,674	4,566,748	125,993,089
11月	74,570,305	42,174,882	7,385,900	21,476	413,116	4,731,106	129,296,785
12月	72,510,725	40,439,712	7,122,006	36,400	402,124	4,644,152	125,155,119
R6年1月	75,954,309	38,209,392	6,857,822	14,560	288,082	4,812,027	126,136,192
2月	75,246,543	37,343,136	7,217,796	14,924	404,872	4,888,222	125,115,493
3月	68,709,709	35,746,887	7,353,195	51,324	434,184	4,527,694	116,822,993
合計	882,978,470	470,352,037	92,548,510	714,896	4,952,354	56,317,375	1,507,863,642
比率(%)	58.56	31.19	6.14	0.05	0.33	3.73	100.00



5-6 開閉栓状況

単位：件

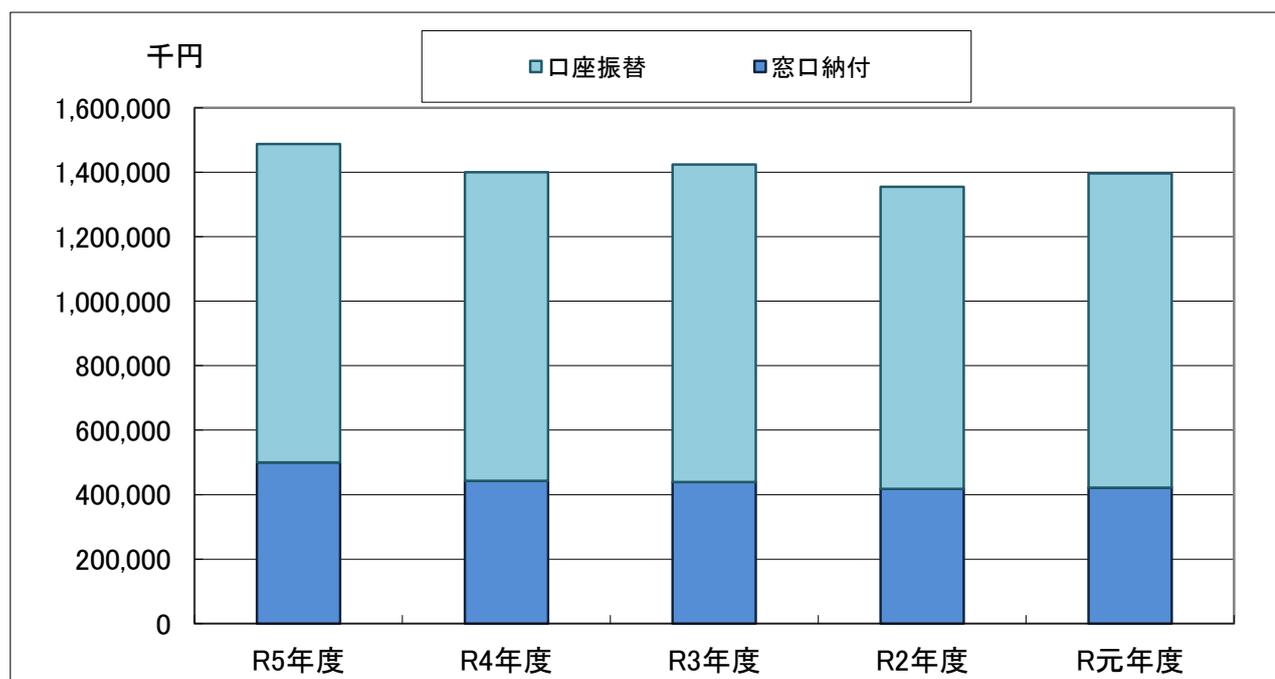
項目 月	開 栓			閉 栓			合 計
	総 件 数	内 訳		総 件 数	内 訳		
		届 出	滞 納		届 移	出 転	
令和5年4月	533	364	169	480	303	177	1,013
5月	418	276	142	465	316	149	883
6月	338	251	87	377	287	90	715
7月	508	293	215	502	272	230	1,010
8月	383	318	65	404	329	75	787
9月	473	272	201	535	326	209	1,008
10月	375	272	103	404	299	105	779
11月	451	259	192	496	283	213	947
12月	307	227	80	351	269	82	658
令和6年1月	358	197	161	413	229	184	771
2月	379	254	125	373	247	126	752
3月	488	392	96	516	415	101	1,004
合 計	5,011	3,375	1,636	5,316	3,575	1,741	10,327
比率 (%)	48.52	32.68	15.84	51.48	34.62	16.86	100.00



5-7 水道料金収納状況

単位：件、円

区分 月	業務 日数	金融機関等窓口納付			口座振替			合 計	
		収 納 件 数	収納金額	収一 納日 件平 数均	収 納 件 数	収納金額	収 納 件 数	収納金額	
R5年4月	20	9,476	33,915,969	474	17,856	66,463,246	27,332	100,379,215	
5月	19	8,970	37,812,784	472	17,596	82,819,043	26,566	120,631,827	
6月	21	9,328	41,259,781	444	17,797	80,911,926	27,125	122,171,707	
7月	20	9,077	42,900,464	454	17,685	85,191,441	26,762	128,091,905	
8月	22	9,035	42,206,341	411	17,636	83,507,314	26,671	125,713,655	
9月	20	9,753	44,004,155	488	17,666	85,781,632	27,419	129,785,787	
10月	20	9,460	43,413,052	473	17,692	85,662,209	27,152	129,075,261	
11月	20	9,410	44,619,283	471	17,601	81,426,017	27,011	126,045,300	
12月	20	9,441	44,491,012	472	17,823	85,312,236	27,264	129,803,248	
R6年1月	19	9,385	42,900,969	494	17,620	81,771,739	27,005	124,672,708	
2月	19	9,119	40,690,384	480	17,784	83,847,829	26,903	124,538,213	
3月	22	9,678	41,809,144	440	17,714	84,543,632	27,392	126,352,776	
合 計	242	112,132	500,023,338	5,573	212,470	987,238,264	324,602	1,487,261,602	
比 率 (%)		34.54	33.62		65.46	66.38	100.00	100.00	
平 均	20	9,344	41,668,612	464	17,706	82,269,855	27,050	123,938,467	



第6章 財 務

6-1 損益計算書

6-2 貸借対照表

6-3 費用構成比較

6-4 企業債明細書

6-5 財務・経営分析

6-1 損益計算書

単位：円、%

科目	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比								
営業収益	1,414,245,708	100.00	1,363,884,640	100.00	1,352,579,292	100.00	1,289,863,921	100.00	1,337,549,829	100.00
(1)給水収益	1,370,983,358	96.94	1,264,492,640	92.71	1,294,011,692	95.67	1,225,443,675	95.01	1,290,713,448	96.50
(2)その他営業収益	43,262,350	3.06	99,392,000	7.29	58,567,600	4.33	64,420,246	4.99	46,836,381	3.50
営業費用	1,296,748,028	100.00	1,307,957,763	100.00	1,297,401,407	100.00	1,279,023,338	100.00	1,324,210,446	100.00
(1)原水及浄水費	823,312,072	63.49	806,682,749	61.68	783,000,679	60.35	784,289,950	61.32	789,961,549	59.65
(2)配水及び給水費	81,202,650	6.26	105,074,318	8.03	115,329,147	8.89	87,140,411	6.81	121,549,535	9.18
(3)総係費	147,555,010	11.38	152,490,669	11.66	140,397,043	10.82	137,634,232	10.76	144,023,383	10.88
(4)減価償却費	242,377,166	18.69	239,770,143	18.33	254,686,088	19.63	259,700,987	20.31	259,889,078	19.63
(5)資産減耗費	2,301,130	0.18	3,939,884	0.30	3,988,450	0.31	10,257,758	0.80	8,786,901	0.66
営業利益 (△は営業損失)	117,497,680		55,926,877		55,177,885		10,840,583		13,339,383	
営業外収益	121,075,381	100.00	132,953,912	100.00	134,956,472	100.00	135,286,996	100.00	140,665,856	100.00
(1)受取利息及び配当金	2,724,575	2.25	2,250,776	1.69	2,486,212	1.84	2,866,574	2.12	2,866,974	2.04
(2)他会計繰入金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
(3)長期前受金戻入	116,883,195	96.54	117,360,998	88.27	124,146,915	91.99	130,514,112	96.47	133,820,813	95.13
(4)退職給付引当金戻入益	1,128,605	0.93	12,723,667	9.57	7,764,908	5.75	872,444	0.65	2,221,110	1.58
(5)消費税還付金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
(6)雑収益	339,006	0.28	618,471	0.47	558,437	0.42	1,033,866	0.76	1,756,959	1.25
営業外費用	3,186,224	100.00	4,150,548	100.00	6,304,095	100.00	6,447,723	100.00	7,726,372	100.00
(1)支払利息及び 企業債取扱諸費	2,646,282	83.05	3,710,877	89.41	4,837,903	76.74	6,002,235	93.09	7,147,452	92.51
(2)雑支出	539,942	16.95	439,671	10.59	1,466,192	23.26	445,488	6.91	578,920	7.49
(3)繰延勘定償却	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
経常利益	235,386,837		184,730,241		183,830,262		139,679,856		146,278,867	
特別利益	32,012		1,895,887		3,802,566		1,147,128		440,700	
特別損失	297,541		39,314		30,276		14,196		33,510	
当年度純利益	235,121,308		186,586,814		187,602,552		140,812,788		146,686,057	

6-2 貸借対照表

(借方)

単位：円、%

年度 科目	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比								
1. 固定資産	6,897,516,835	76.39	6,932,783,613	78.09	6,863,150,849	78.97	6,948,131,104	82.09	6,888,103,578	81.99
(1)有形固定資産	5,503,936,335	60.96	5,632,410,213	63.45	5,465,382,349	62.89	5,441,657,604	64.29	5,316,658,078	63.28
(イ)土地	148,214,275	1.64	148,214,275	1.67	145,856,999	1.68	145,856,999	1.72	145,856,999	1.74
(ロ)建物	355,887,790	3.94	368,261,758	4.15	380,635,726	4.38	393,009,694	4.65	405,383,662	4.83
(ハ)構築物	4,661,229,838	51.62	4,809,578,881	54.18	4,606,956,190	53.01	4,577,330,403	54.08	4,437,127,832	52.81
(ニ)機械及び装置	169,351,395	1.88	168,402,248	1.90	167,461,411	1.93	172,078,502	2.03	181,859,934	2.17
(ホ)車輛運搬具	3,594,823	0.04	5,674,078	0.06	2,373,100	0.03	3,554,764	0.04	4,637,054	0.06
(ヘ)工具器具備品	17,716,108	0.20	20,262,516	0.23	11,305,346	0.13	15,415,136	0.18	18,206,420	0.22
(ト)建設仮勘定	147,942,106	1.64	112,016,457	1.26	150,793,577	1.73	134,412,106	1.59	123,586,177	1.47
(2)無形固定資産	268,700	0.00	268,700	0.00	268,700	0.00	268,700	0.00	268,700	0.00
(イ)電話加入権	268,700	0.00	268,700	0.00	268,700	0.00	268,700	0.00	268,700	0.00
(3)投資	1,393,311,800	15.43	1,300,104,700	14.64	1,397,499,800	16.08	1,506,204,800	17.80	1,571,176,800	18.70
(イ)出資金	231,000	0.00	231,000	0.00	231,000	0.00	231,000	0.00	231,000	0.00
(ロ)他会計貸付金	1,393,080,800	15.43	1,299,873,700	14.64	1,397,268,800	16.08	1,505,973,800	17.80	1,570,945,800	18.70
2. 流動資産	2,131,810,442	23.61	1,944,852,601	21.91	1,827,154,460	21.03	1,515,705,314	17.91	1,513,457,532	18.01
(1)現金預金	1,934,053,026	21.42	1,785,279,043	20.11	1,644,822,077	18.93	1,385,368,777	16.37	1,330,527,635	15.84
(2)未収金	130,411,968	1.44	150,869,404	1.70	121,979,205	1.40	121,256,746	1.43	133,089,572	1.58
(3)未収金貸倒引当金	△ 342,974	0.00	△ 275,676	0.00	△ 328,630	0.00	△ 234,193	0.00	△ 339,358	0.00
(4)貯蔵品	7,266,758	0.08	8,978,209	0.10	6,891,440	0.08	9,313,207	0.11	8,091,683	0.10
(5)前払金	60,420,000	0.67	0	0.00	53,790,000	0.62	0	0.00	41,998,000	0.50
(6)その他流動資産	1,664	0.00	1,621	0.00	368	0.00	777	0.00	90,000	0.00
資産合計	9,029,327,277	100.00	8,877,636,214	100.00	8,690,305,309	100.00	8,463,836,418	100.00	8,401,561,110	100.00

(貸方)

単位：円、%

年度 科目	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	構成比								
3. 固定負債	84,603,119	0.94	112,306,655	1.27	158,682,676	1.83	202,737,753	2.39	240,832,218	2.86
(1) 企業債	48,851,506	0.54	75,426,437	0.85	109,078,791	1.26	145,368,960	1.72	182,590,981	2.17
(2) 引当金	35,751,613	0.40	36,880,218	0.42	49,603,885	0.57	57,368,793	0.68	58,241,237	0.69
4. 流動負債	211,890,734	2.35	220,277,400	2.48	220,883,765	2.54	188,442,075	2.23	246,852,147	2.94
(1) 企業債	26,574,931	0.30	33,652,354	0.38	36,290,169	0.42	37,222,021	0.44	37,721,343	0.45
(2) 未払金	137,971,011	1.53	140,446,629	1.58	140,790,760	1.62	106,658,530	1.26	161,071,394	1.92
(3) 引当金	8,406,000	0.09	7,736,000	0.09	8,113,000	0.09	8,420,000	0.10	8,974,000	0.11
(4) 預り金	38,938,792	0.43	38,442,417	0.43	35,689,836	0.41	36,141,524	0.43	38,995,410	0.46
(5) その他の流動負債	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	90,000	0.00
5. 繰延収益	2,499,634,086	27.68	2,546,974,129	28.69	2,500,330,961	28.77	2,449,851,235	28.95	2,431,884,178	28.95
(1) 長期前受金	6,177,817,079		6,158,427,570		5,949,552,346		5,821,130,215		5,702,424,975	
(イ) 補助金	5,185,282,187		5,174,488,557		4,999,208,408		4,896,267,464		4,829,679,637	
(ロ) 他会計負担金	261,469,243		261,469,243		261,469,243		261,469,243		261,469,243	
(ハ) 受贈財産評価額	285,308,008		279,719,272		271,340,807		260,683,871		214,786,009	
(ニ) 工事負担金	205,842,740		202,835,597		177,618,987		162,794,736		156,575,185	
(ホ) その他長期前受金	239,914,901		239,914,901		239,914,901		239,914,901		239,914,901	
(2) 収益化累計額	△ 3,771,885,429		△ 3,661,901,332		△ 3,545,419,730		△ 3,434,931,871		△ 3,328,753,688	
(イ) 補助金	△ 3,199,099,854		△ 3,112,680,951		△ 3,019,172,800		△ 2,931,576,378		△ 2,847,201,769	
(ロ) 他会計負担金	△ 185,625,575		△ 178,798,987		△ 171,915,500		△ 165,032,013		△ 158,148,526	
(ハ) 受贈財産評価額	△ 91,078,444		△ 84,067,511		△ 77,245,095		△ 70,612,460		△ 64,837,529	
(ニ) 工事負担金	△ 98,882,638		△ 94,505,216		△ 90,587,919		△ 86,562,855		△ 82,767,950	
(ホ) その他長期前受金	△ 197,198,918		△ 191,848,667		△ 186,498,416		△ 181,148,165		△ 175,797,914	
(3) 建設仮勘定 長期前受金	93,702,436		50,447,891		96,198,345		63,652,891		58,212,891	
負債合計	2,796,127,939	30.97	2,879,558,184	32.44	2,879,897,402	33.14	2,841,031,063	33.57	2,919,568,543	34.75
5. 資本金	4,843,816,081	53.64	4,710,163,727	53.06	4,573,873,558	52.63	4,543,873,558	53.68	4,369,687,981	52.01
(1) 固有資本金	62,739,053	0.69	62,739,053	0.71	62,739,053	0.72	62,739,053	0.74	62,739,053	0.75
(2) 組入資本金	4,781,077,028	52.95	4,647,424,674	52.35	4,511,134,505	51.91	4,481,134,505	52.94	4,306,948,928	51.26
6. 剰余金	1,389,383,257	15.39	1,287,914,303	14.50	1,236,534,349	14.23	1,078,931,797	12.75	1,112,304,586	13.24
(1) 資本剰余金	54,433,779	0.60	54,433,779	0.61	53,350,470	0.61	53,350,470	0.63	53,350,470	0.64
(イ) 国庫補助金	54,433,779	0.60	54,433,779	0.61	53,350,470	0.61	53,350,470	0.63	53,350,470	0.64
(ロ) 工事負担金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
(ハ) 受贈財産評価額	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
(ニ) 他会計補助金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
(ホ) 他会計繰入金	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
(2) 利益剰余金	1,334,949,478	14.79	1,233,480,524	13.89	1,183,183,879	13.62	1,025,581,327	12.12	1,058,954,116	12.60
(イ) 減債積立金	6,828,170	0.08	39,893,710	0.45	75,581,327	0.87	105,232,773	1.24	142,268,059	1.68
(ロ) 建設改良積立金	1,093,000,000	12.10	1,007,000,000	11.34	920,000,000	10.59	746,000,000	8.82	770,000,000	9.17
(ハ) 当年度末処理 利益剰余金	235,121,308	2.61	186,586,814	2.10	187,602,552	2.16	174,348,554	2.06	146,686,057	1.75
資本合計	6,233,199,338	69.03	5,998,078,030	67.56	5,810,407,907	66.86	5,622,805,355	66.43	5,481,992,567	65.25
負債資本合計	9,029,327,277	100.00	8,877,636,214	100.00	8,690,305,309	100.00	8,463,836,418	100.00	8,401,561,110	100.00

6-3 費用構成比較

単位：円、%

年度	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	金額	割合								
職員給与費	95,464,008	7.34	97,549,993	7.43	90,373,811	6.93	87,844,431	6.85	95,738,999	7.19
(基本給)	54,202,845	4.17	56,949,794	4.34	51,358,446	3.94	50,678,956	3.77	52,796,884	3.97
(手当)	24,496,161	1.88	23,346,746	1.78	22,444,905	1.72	23,264,316	1.81	24,910,610	1.87
(法定福利費)	16,765,002	1.29	17,253,453	1.31	16,570,460	1.27	16,305,491	1.27	18,031,505	1.35
受水費	736,003,472	56.61	725,855,947	55.32	714,972,295	54.84	711,996,289	55.39	700,796,102	52.61
修繕費	35,083,721	2.70	30,728,586	2.34	28,075,688	2.15	28,303,596	2.20	51,130,909	3.84
委託費	105,284,969	8.10	128,584,676	9.80	134,678,003	10.33	110,658,501	8.61	129,822,598	9.75
動力費	39,697,521	3.05	42,595,130	3.25	37,218,818	2.85	34,965,336	2.72	35,471,546	2.66
減価償却費	242,377,166	18.65	239,770,143	18.27	254,686,088	19.54	259,700,987	20.20	259,889,078	19.51
支払利息	2,646,282	0.21	3,710,877	0.29	4,837,903	0.38	6,002,235	0.46	7,147,452	0.54
その他経費	43,377,113	3.34	43,312,959	3.30	38,862,896	2.98	45,999,686	3.57	51,940,134	3.90
合計	1,299,934,252	100.0	1,312,108,311	100.0	1,303,705,502	100.0	1,285,471,061	100.0	1,331,936,818	100.0

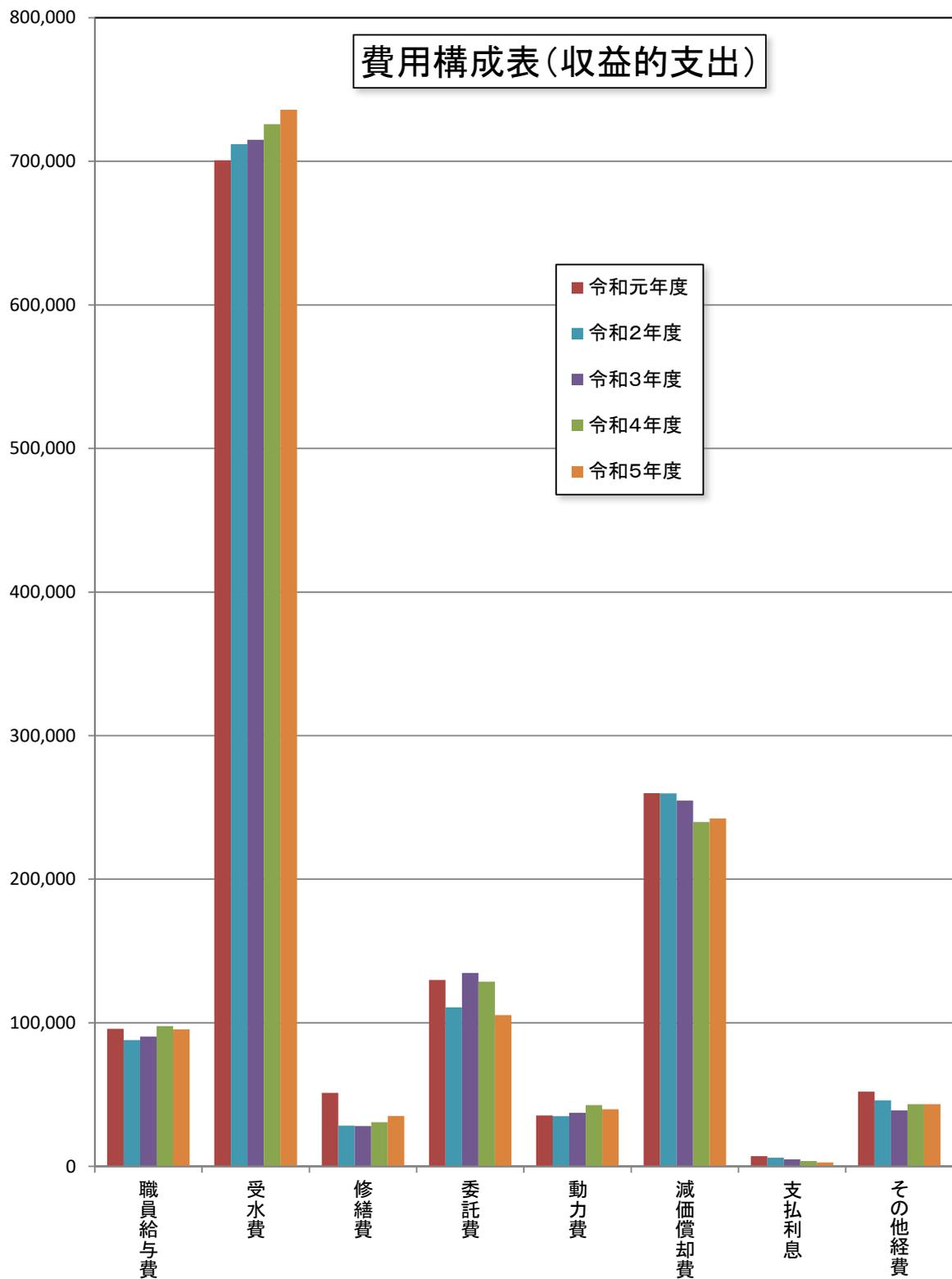
*基本給は、給料、扶養手当及び会計年度任用職員の報酬の合計額とする。

*手当は、児童手当を含まない額とする。(児童手当はその他経費に含める。)

*会計年度任用職員に係る人件費も職員給与費に含める(費用弁償はその他経費に含める)

金額(千円)

費用構成表(収益的支出)



6-4 企業債明細書（上水道事業債）

1. 令和5年度 財政融資資金

証書番号	発行年月日	発行総額	前年度末 元金未償還残高	当年度 借入額	当年度償還		
					元金償還高	利子償還高	元利合計
05001	H6. 3. 23	74,100,000	4,422,934	0	4,422,934	121,444	4,544,378
07001	H8. 3. 14	83,500,000	13,783,036	0	4,451,522	399,384	4,850,906
08001	H9. 3. 25	167,800,000	35,255,225	0	8,449,671	928,409	9,378,080
10011	H11. 9. 24	84,000,000	26,217,034	0	3,805,351	530,685	4,336,036
小計		409,400,000	79,678,229	0	21,129,478	1,979,922	23,109,400

2. 令和5年度 地方公共団体金融機構

証書番号	発行年月日	発行総額	前年度末 元金未償還残高	当年度 借入額	当年度償還		
					元金償還高	利子償還高	元利合計
H07-010-3317	H8. 3. 22	13,900,000	842,198	0	842,198	20,584	862,782
H07-010-3318	H8. 3. 22	41,700,000	2,514,680	0	2,514,680	60,512	2,575,192
H08-010-2141	H9. 3. 26	27,900,000	3,223,687	0	1,588,641	82,053	1,670,694
H08-010-2142	H9. 3. 26	83,900,000	9,650,024	0	4,756,746	241,372	4,998,118
H11-010-0533	H11. 9. 30	56,000,000	13,169,973	0	2,820,611	261,839	3,082,450
小計		223,400,000	29,400,562	0	12,522,876	666,360	13,189,236

総合計		632,800,000	109,078,791	0	33,652,354	2,646,282	36,298,636
-----	--	-------------	-------------	---	------------	-----------	------------

(単位：円)

高	当年度末	利率	償還終期	備 考
元金償還高累計	元金未償還残高	(%)	(年月日)	
74,100,000	0	3.65	R6.3.1	償還終了
74,168,486	9,331,514	3.15	R8.3.1	
140,994,446	26,805,554	2.80	R9.3.1	
61,588,317	22,411,683	2.10	R11.9.1	
350,851,249	58,548,751			

(単位：円)

高	当年度末	利率	償還終期	備 考
元金償還高累計	元金未償還残高	(%)	(年月日)	
13,900,000	0	3.25	R6.3.20	償還終了
41,700,000	0	3.20	R6.3.20	償還終了
26,264,954	1,635,046	2.90	R7.3.20	
79,006,722	4,893,278	2.85	R7.3.20	
45,650,638	10,349,362	2.10	R9.9.20	
206,522,314	16,877,686			

557,373,563	75,426,437			
-------------	------------	--	--	--

6-5 財務・経営分析

(1)財務分析

項 目		単 位	令和5年度算出式	令和5年度	令和4年度	令和3年度
1	固定資産構成比率	%	$\frac{6,897,516,835}{9,029,327,277} \times 100$	76.39	78.09	78.97
2	自己資本構成比率	%	$\frac{8,732,833,424}{9,029,327,277} \times 100$	96.72	96.25	95.63
3	固定資産対長期資本比率	%	$\frac{6,897,516,835}{8,817,436,543} \times 100$	78.23	80.08	81.03
4	固定比率	%	$\frac{6,897,516,835}{8,732,833,424} \times 100$	78.98	81.13	82.58
5	流動比率	%	$\frac{2,131,810,442}{211,890,734} \times 100$	1,006.09	882.91	827.20
6	当座比率	%	$\frac{2,064,122,020}{211,890,734} \times 100$	974.14	878.83	799.73
7	現金預金比率	%	$\frac{1,934,053,026}{211,890,734} \times 100$	912.76	810.47	744.66
8	総資本利益率	%	$\frac{235,121,308}{8,920,529,068} \times 100$	2.64	2.13	2.19
9	総収支比率	%	$\frac{1,535,353,101}{1,300,231,793} \times 100$	118.08	114.22	114.39
10	営業収支比率	%	$\frac{1,414,245,708}{1,296,748,028} \times 100$	109.06	104.28	104.25
11	企業債償還元金対減価償却費比率	%	$\frac{33,652,354}{242,377,166} \times 100$	13.88	15.14	14.61
12	企業債償還元金(料金収入当り)	%	$\frac{33,652,354}{1,370,983,358} \times 100$	2.45	2.87	2.88
13	企業債償還利息(料金収入当り)	%	$\frac{2,646,282}{1,370,983,358} \times 100$	0.19	0.29	0.37
14	職員給与費(料金収入当り)	%	$\frac{95,464,008}{1,370,983,358} \times 100$	6.96	7.71	6.98

算 出 式		説 明
$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	×100	総資産の固定化の度合いを表す。比率の低い方が柔軟な経営ができる。
$\frac{\text{自己資本金+剰余金+評価差損等+繰延収益}}{\text{負債・資本合計}}$	×100	総資本に対する自己資本（自己資本金+剰余金）の割合を示す。比率が大きいほど経営が安定する。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金+剰余金+固定負債+繰延収益}}$	×100	固定資産の自己資本と長期借入金によって調達された割合。100%を上回っている場合は固定資産の一部が流動資産で調達されていることを示し、不良債務の発生原因となる。
$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金+剰余金+評価差損等+繰延収益}}$	×100	固定資産の自己資本で調達されている割合。比率が高いほど他人資本によって調達されたことを表す。100%以下が適当。
$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	×100	企業の支払能力を示す。200%以上が適当。100%を下回ると不良債務が発生している。
$\frac{\text{現金預金+（未収金-貸倒引当金）}}{\text{流動負債}}$	×100	流動資産のうち現金預金等による支払能力を示す。100%以上が適当。
$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}}$	×100	即時支払能力を示す。20%以上が適当。
$\frac{\text{純利益}}{\text{（期首負債資本合計+期末負債資本合計）} \div 2}$	×100	投資した総資本に対しどれだけ純利益をあげたかを示す。比率は大きいほどよい。
$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}}$	×100	総費用に対する総収益の割合。100%以上は益、100%以下は損。大きいほどよい。
$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}}$	×100	営業能力を表す（営業費用に対する営業収益の割合）100%以上がよく、大きいほどよい。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}}$	×100	投下資本の回収と再投資のバランス（投資の健全性）をみる。比率は小さいほどよい。
$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}}$	×100	料金収入に対する企業債元金の割合。小さいほどよい。
$\frac{\text{企業債償還利息}}{\text{給水収益}}$	×100	料金収入に対する企業債利息の割合。小さいほどよい。
$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}}$	×100	料金収入に対する職員給与費の割合。小さいほどよい。

(2) 経営分析

項 目		単 位	令和5年度算出式	令和5年度	令和4年度	令和3年度
1	負 荷 率	%	$\frac{19,555}{21,450} \times 100$	91.17	88.81	89.74
2	施 設 利 用 率	%	$\frac{19,555}{25,002} \times 100$	78.21	77.79	76.63
3	最 大 稼 動 率	%	$\frac{21,450}{25,002} \times 100$	85.79	87.59	85.39
4	有 収 率	%	$\frac{6,842,626}{7,157,190} \times 100$	95.60	94.45	94.02
5	配水管使用効率	m ³ /m	$\frac{7,157,190}{373,136}$	19.18	19.00	18.79
6	固定資産使用効率 (1万円当り)	m ³	$\frac{7,157,190}{550,394}$	13.00	12.60	12.80
7	供 給 単 価	円/m ³	$\frac{1,370,983,358}{6,842,626}$	200.36	188.59	196.82
8	給 水 原 価	円/m ³	$\frac{1,183,051,057}{6,842,626}$	172.89	178.19	179.41
9	給 水 人 口 (職員1人当り)	人	$\frac{62,211}{15}$	4,147	4,145	4,438
10	有 収 水 量 (職員1人当り)	m ³	$\frac{6,842,626}{15}$	456,175	447,001	469,614
11	営 業 収 益 (職員1人当り)	千円	$\frac{1,414,246}{15}$	94,283	90,926	96,613
12	営 業 費 用 (職員1人当り)	千円	$\frac{1,296,748}{15}$	86,450	87,197	92,672

算 出 式		説 明
$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日最大配水量}} \times 100$		最大配水量に対する平均配水量の割合。小さいほど最大稼働率と施設利用率の差が大きい。
$\frac{1 \text{ 日平均配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$		施設の稼働状況を示す。一般に、大きいほど施設規模が適正で効率よく稼働している。
$\frac{1 \text{ 日最大配水量}}{1 \text{ 日配水能力}} \times 100$		100%を超える状態では断水も発生しやすくなり、また、かなり低いと過大投資を表す。
$\frac{\text{有 収 水 量}}{\text{総 配 水 量}} \times 100$		配水された浄水のうち料金として徴収される水量の割合。大きいほどよい。
$\frac{\text{総 配 水 量}}{\text{導送配水管 総延長}}$		送配水管 1 m 当りの利用度。人口密度の影響を受け、一般に都市部は高い。
$\frac{\text{総 配 水 量}}{\text{有形固定資産}}$		有形固定資産 1 万円当りの配水効率。大きいほどよい。
$\frac{\text{給 水 収 益}}{\text{有 収 水 量}}$		1 m ³ の浄水の販売価格。給水原価を上回るのがよい。
$\frac{(\text{経常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入益})}{\text{有 収 水 量}}$		1 m ³ の浄水の生産価格。供給単価以下がよい。
$\frac{\text{給 水 人 口}}{\text{損益勘定職員数}}$		職員数が適正かどうかを示す。給水人口の分布、施設の効率等に左右される。大きいほどよい。
$\frac{\text{有 収 水 量}}{\text{損益勘定職員数}}$		労働生産性をみる。給水人口の分布、施設の効率等に左右される。大きいほどよい。
$\frac{\text{営 業 収 益}}{\text{損益勘定職員数}}$		職員 1 人当たりの売上高。給水人口の分布、施設の効率等に左右される。大きいほどよい。
$\frac{\text{営 業 費 用}}{\text{損益勘定職員数}}$		職員 1 人当たりの費用。給水人口の分布、施設の効率等に左右される。小さいほどよい。

第7章 議会及び認可事項

7-1 議会議決事項

7-2 行政官庁許認可事項

7-1 議会議決事項

(1) 予算関係

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
109	令和5年度糸満市水道事業会計補正予算(第1号)	令和5年12月5日	令和5年12月12日
10	令和6年度糸満市水道事業会計予算	令和6年3月4日	令和6年3月26日

(2) 決算関係

議案番号	件名	提出年月日	議決年月日
64	令和4年度糸満市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	令和5年9月5日	令和5年9月26日

7-2 行政官庁許認可事項

申請年月日	申請先	申請内容	許認可年月日
令和5年4月28日	厚生労働大臣	令和5年度沖縄簡易水道等施設整備費(上水道施設整備費)国庫補助金	令和5年8月18日
令和5年11月29日	沖縄県公営企業管理者	令和6年度給水申込	令和6年3月28日
令和5年12月5日	沖縄防衛局長	自衛隊施設民公有財産一時使用許可書(航空自衛隊那覇基地与座岳分屯基地)	令和6年3月29日
令和6年2月8日	沖縄防衛局長	自衛隊施設民公有財産一時使用許可書(陸上自衛隊那覇駐屯地八重瀬分屯地)	令和6年3月29日

第8章 資 料

8-1 糸満市水道事業年表

8-2 拡張事業許認可事項

8-1 糸満市水道事業年表

1950年 (昭和25年)	4月13日	兼城村役所井戸完成
1955年 (昭和30年)	7月20日	三和村米須簡易水道完成
1957年 (昭和32年)	8月6日 12月16日	三和村真栄平簡易水道竣工祝賀会 兼城村字照屋簡易水道落成祝賀会
1961年 (昭和36年)	5月29日 10月1日	講和発効前損失補償審議委員会、与座川水利権補償34,883ドル決定 糸満町、兼城村、高嶺村、三和村が合併し、新糸満町誕生
1962年 (昭和37年)	10月5日 12月2日 12月8日	東部水道、字摩文仁へ給水開始 簡易水道落成式(字大里) 簡易水道落成式(字真壁)
1963年 (昭和38年)	1月13日 4月12日 10月4日 12月25日	簡易水道落成式(字摩文仁) 60年ぶりの寒波と70年ぶりの干ばつに襲われ、消防車による給水開始 (字喜屋武、字束里、字真栄里、字豊原、字北波平、川尻) 東部水道から豊原区への給水を可決(町定例議会) 簡易水道落成祝賀会(字喜屋武)
1965年 (昭和40年)	9月20日 10月	字糸満上水道設置特別委員会、水源地で意見が別れ、浄水場建設計画流れる 水量調査(字伊敷の轟洞、字糸満の与那堀、字名城の水源地)
1966年 (昭和41年)	4月14日 6月10日 10月	水源地調査ボーリング開始(字大度のサッチン上流、字大里桃原、字照屋堂畑) 水源地調査ボーリング成功(字照屋東原) 水源地調査ボーリング(糸満南小学校近く)
1967年 (昭和42年)	6月28日 7月29日 7月1日 8月17日 9月4日 11月20日	糸満町と大里部落分水協定式 北波平などに消防車で給水 建設課に水道係を設置 糸満町営水道の浄水場建設契約否決(臨時議会) 糸満町営水道の浄水場建設契約可決(臨時議会) 琉球政府から町営水道事業認可される(字糸満南区、字照屋) (水源は大里嘉手志川下流、照屋後原井戸)
1968年 (昭和43年)	7月16日 11月30日	照屋浄水場9カ月余りで第1期工事完成 (総工費62,900ドル/着水井、濾過池、殺菌室、配水池) 簡易水道落成式(字真栄平)
1969年 (昭和44年)	1月 3月25日 4月4日 7月1日	上水道事業第2期工事完成 (取水施設、ポンプ場施設、導水・配水施設) 第1次変更認可(字阿波根、北波平、兼城、賀数へ給水区域拡張) 本土援助で水脈と水源調査を実施 建設課から水道課を分離設置(業務係、工務係)
1970年 (昭和45年)	6月16日 6月28日 9月12日 6月 11月 11月6日 11月11日	上水道給水開始(字糸満、照屋の一部～上之平一帯) 上水道落成式(字賀数) 上水道落成式(字阿波根) 第3回水道週間イベント 民営簡易水道で集団赤痢発生(字糸満、患者900人超) 簡易水道の水源地調査と町民の検便を実施 屋良主席、集団赤痢赤痢発生源の簡易水道の改善指導を建設局長に指示

1971年 (昭和46年)	1月28日 5月2日 5月13日 5月14日 5月22日 5月28日 5月28日 7月26日 8月12日 12月1日	第2次変更認可(字糸満西川区へ給水区域拡張) 上水道落成式(字北波平) 町長と簡易水道業者との懇談会 第3次変更認可(字糸満前端区、町端区、武富の一部へ給水区域拡張) 南部地区東部上水道組合、薬物汚染で全面給水停止(字摩文仁、豊原) 字真壁の田島さん、字摩文仁へ無料奉仕の水運び 与座岳の水道から配管工事 簡易水道買収問題で3業者、町当局案に譲歩 字武富で集団赤痢発生、井戸水すべて汚染 「糸満町」から「糸満市」へ昇格
1972年 (昭和47年)	1月21日 5月15日 〃 7月	第4次変更認可(字武富へ給水区域拡張) 沖縄県本土復帰 水道料金をドルから円へ改定(1ドル=308円) 水道設備計画進む
1973年 (昭和48年)	4月 4月10日 6月 7月10日 9月27日 11月20日	水道事業の設置等に関する条例制定 新世界通りの繁華街・字座波・賀数・照屋などで停電、断水騒ぎ 字糸満の上水道整備事業完成 水道料金改定 字大里の水源地汚染で大里区民が原因調査に乗り出す、調査が済むまで ユビガーの水を滅菌して使用 同問題で水道課が職員を派遣 時間給水始まる
1974年 (昭和49年)	1月14日 2月7日 3月1日 4月26日 4月30日 7月12日 8月16日	一日おきの給水を実施 字真栄平の簡易水道貯水タンク増築落成式 字糸満・照屋、全面給水となる(断水解除) 糸満ロータリー中心地で火災発生、断水日で消火活動がはかどらず前川 歯科など4棟焼ける 南部水道企業団浄水場が汚染され、字摩文仁・豊原で断水 南部水道全面給水(断水解除) 夜間断水(字糸満と字兼城の一部、字照屋) 市水道、時間給水
1975年 (昭和50年)	4月13日 7月1日 8月 10月1日 11月1日 11月16日	字大里簡易水道貯水タンク落成式 県企業局、水道料金改定 字糸満一部集金業務委託開始 水道部(業務課・工務課)設置、初代部長をおく 字上里に水道布設 字新垣簡易水道施設落成式
1976年 (昭和51年)	1月5日 1月14日 3月27日 4月1日 4月19日	夜間断水始まる(字糸満) 昼間の時間帯の給水制限始まる(字糸満) 全面給水で3ヶ月ぶりに断水から開放 与座浄水場(ポンプ場・配水施設)、県企業局から市へ無償譲渡 市議会代表、知事に緊急送水を要請
1977年 (昭和52年)	3月14日 4月1日 9月26日 10月	送水管敷設工事完了(与那原～与座ポンプ場) 県企業局から受水開始(1日3,000トン受水、市取水分と混合配水) 第5次変更認可(西崎町、字潮平、与座、真栄里、豊原、真壁、伊敷、名城、 糸洲、小波蔵、南波平、伊原、大度、福地、山城、東里へ給水区域拡張) 与座・大里地区送配水管、配水池施設工事着工
1978年 (昭和53年)	1月1日 1月1日 3月15日 7月 8月1日	県企業局、水道料金改定 水道料金改定 与座配水池竣工(6,000m³、三和・高嶺地域へ給水) 字糸満一部検針業務委託開始 全市給水計画の送水管敷設工事着工

1979年 (昭和54年)	2月28日 4月27日 7月 9月13日	与座ポンプ場改築工事竣工 与座配水池、給水管工事完成・通水式 (名城水源地利用10部落と字真栄里へ給水開始) 名城水源地10カ部落水道組合解散委員会 第6次変更認可(字米須へ給水区域拡張)
1980年 (昭和55年)	4月26日 7月 12月22日	市水道給水記念祝賀会(字米須) 字豊原の給水開始(6月まで南部水道企業団から給水) 制限給水始まる(326日) 第7次変更認可(字喜屋武へ給水区域拡張)
1981年 (昭和56年)	2月28日 4月 4月17日 9月1日	潮平配水池竣工(3,000m³、西崎町へ給水) 字喜屋武の給水開始 水道5カ年計画基本施設整備事業の完成祝賀会と潮平給水池(3,000トン)の通水 県企業局、水道料金改定
1982年 (昭和57年)	1月1日 4月 6月	水道料金改定 市青年団、婦人連合会水道料金改定について市長訪問 字宇江城の給水開始 制限給水解除(326日)
1983年 (昭和58年)	2月 6月	糸満市渇水対策協議会結成 字武富の給水開始(5月まで豊見城村から給水)
1984年 (昭和59年)	4月 4月27日 6月1日 6月15日 6月16日 6月28日	字大里・照屋水源取水停止 糸満南小学校、照屋浄水場を見学 市内婦人会リーダー、石川浄水場などを視察 西崎小学校、照屋浄水場を見学 市給水指定店組合、水道施設の清掃 糸満小学校、照屋浄水場を見学
1985年 (昭和60年)	4月 6月7日 8月27日 9月1日 9月3日 12月	玉城(字糸満)水源取水停止 字国吉の給水開始 糸満市水道部主催で福地ダムなどを視察 座波簡易水道の水源地が汚濁、市の上水道から臨時給水 座波簡易水道の水質調査の結果、飲料水に不適合 座波簡易水道対策会議(中央公民館) 収納管理電算システム導入
1986年 (昭和61年)	4月 4月7日 6月27日 8月8日 9月25日 10月1日 11月10日 11月22日	金城(字糸満)水源取水停止 照屋浄水場廃止 第8次変更認可(第4次埋立地、字宇江城、国吉へ給水区域拡張) 座波水源を守る会、市の上水道臨時給水管から簡易水道へ切り替える 座波簡易水道水質検査検査の説明会、県は飲料水に不相当と発表 照屋配水池築造工事の起工式・安全祈願祭 第9次変更認可(字座波へ給水区域拡張) 給水塔建設工事 座波地区配水管布設工事起工式
1987年 (昭和62年)	2月28日 4月 6月1日 6月7日 11月	照屋配水池完成(1,750トン) 字座波の給水開始 水道料金集金業務の2名に市から感謝状 市内の子ども会、北部の水道施設を視察 与座水源取水停止 与座浄水場廃止(県企業局から全面受水へ)

1988年 (昭和63年)	6月 10月4日	水道事業功労者表彰 与座地区水道敷設工事起工式
1989年 (平成元年)	4月1日 6月2日 10月1日	税法改正により消費税導入(3%、市水道料金に転嫁せず) 自治連絡員、水道施設視察研修 県企業局、水道料金改定(消費税導入に伴う)
1991年 (平成3年)	4月 5月1日	日本水道協会沖縄県支部総会本市で開催 第10次変更認可(字大里、真栄平、糸満糸満漁港南地区背後埋立地へ給水区域拡張)
1992年 (平成4年)	4月1日 4月	2課から3課へ機構改革(庶務課、業務課、工務課) 字真栄平へ給水開始
1993年 (平成5年)	2月10日 4月10日 6月1日 6月	糸満市水道事業25周年記念式典・祝賀会(南区公民館) 与座ポンプ場水道管に亀裂、修理のため市全域で16時間断水 県企業局、水道料金改定 検針業務にハンディターミナル導入
1994年 (平成6年)	1月1日 2月15日 3月 6月7日	水道料金改定(同時に消費税転嫁) 与座ポンプ場ポンプ入替(75kw 2基) 遠方監視システム導入 工務課勤務職員、日本水道協会九州支部と沖縄支部から永年勤続表彰
1995年 (平成7年)	2月 5月	阪神大震災支援要員を派遣(工務課職員1名) 財務会計システム導入
1996年 (平成8年)	3月29日 4月	第11次変更認可(字新垣、南浜埋立地へ給水区域拡張) 字大里の給水開始
1997年 (平成9年)	3月14日 4月1日 6月1日 8月1日 9月30日 9月	北波平ポンプ場完成(送水能力25,000m³/日) 与座ポンプ場ポンプ設備入替(190kw 2基、75kw 1基) 非常用発電機導入 集金業務廃止 水道部から局に昇格、初代水道局長就任 庶務課から総務課へ課名変更(総務課4人、工務課6人、業務課8人) 税法改正により消費税率5%へ、地方消費税導入 県企業局、水道料金改定(消費税率改正) 市水道料金の消費税率改定 水道局主催水道週間にちなんだ図画・習字・作文・標語の特選入賞の表彰式 工務課勤務職員、日本水道協会九州支部と沖縄県支部から永年勤続表彰
1998年 (平成10年)	2月 3月 4月 6月 9月	潮平・照屋配水池緊急遮断弁設置 規制緩和による水道法大幅改正に伴い、給水条例を全条改正 糸満市給水装置工事事業者証発行(35社) 大里村高平で企業局送水管漏水のため2日間にわたり時間断水 水道局主催水道週間にちなんだ図画・習字コンクールの特選入賞の表彰
1999年 (平成11年)	1月8日 2月12日 9月	与座配水池緊急遮断弁設置 通水30周年記念式典(サムシングフォー西崎)及び記念誌発刊 台風18号の影響を受け県企業局が停電、送水量の不足により、4日間の制限給水(市内全域)
2000年 (平成12年)	4月26日 8月15日 10月	日本水道協会県支部総会、サムシングフォー西崎で開催 水道料金検算用パソコン、2台増設 初代水道局長、助役就任のため退任 職務代理者として参事兼総務課長を指名 字新垣地内配水管布設工事着工

2001年 (平成13年)	1月 3月 4月1日 7月	字座波簡易水道地域・給水装置工事着工 字新垣、字座波簡易水道地域が市上水道へ切替、給水開始 新水道事業管理者就任 業務課勤務職員が日本水道協会九州支部と沖縄県支部から永年勤続表彰
2002年 (平成14年)	3月27日 4月1日 4月1日 5月7日	第1 2次変更認可（字摩文仁、マリノバージョン地区へ給水区域拡張） 3課から2課へ機構改革（総務課11人、工務課7人） 水道料金改定 水道局新庁舎（潮崎町）業務開始
2004年 (平成16年)	3月10日	八重瀬配水池竣工（750m³） （摩文仁への給水区域拡張に伴い施設整備のため建設される）
2005年 (平成17年)	3月 4月1日 4月11日	計装設備の整備（テレメーター室） 「水道局」から「水道部」へ変更 水道事業管理者を糸満市長が務める 八重瀬配水池より字摩文仁への給水開始（3月まで南部水道企業団から給水） 市内全域給水施設整備完備となる
2006年 (平成18年)	2月 4月1日	潮平第2配水池竣工（1,500m ³ ） 西崎町及び国道331号沿いの安定給水強化を図る 水道料金システム・財務会計システムを新システムへ移行 （水道料金を総額表示へ変更）
2007年 (平成19年)	7月	総務課勤務職員が日本水道協会九州支部と沖縄県支部から永年勤続表彰
2008年 (平成20年)	4月1日 12月	水道事業一部民間委託業務開始（水道メーター検針業務・受付事務・量水器 開閉栓業務） 字真栄平の福祉施設が給水開始したことにより、市内全域の完全給水達成
2009年 (平成21年)	2月 2月	潮平配水池からの配水区域である西崎系統及び国道331号沿いの安定給水 を図るため新たにφ250mmの配水管を新設 通水40周年記念誌発刊
2010年 (平成22年)	2月 7月	武富区画整理地区や座波地内の水需要が見込まれる地区の配水管を布設 総務課勤務職員が日本水道協会九州支部と沖縄県支部から永年勤続表彰
2011年 (平成23年)	1月 2月 4月1日 6月	糸満地内で国道バイパス工事による配水管の更新工事施工 西崎地内の水管橋の改築と西崎6丁目地内の配水管の更新工事施工 水道料金等コンビニ収納代行業務委託開始 工務課勤務職員が日本水道協会九州支部と沖縄県支部から永年勤続表彰
2012年 (平成24年)	3月	糸満市水道施設整備事業事前評価実施
2013年 (平成25年)	2月 4月	テレメーター装置更新工事と米須・伊原・西崎地内の配水管の更新工事施工 武富区画整理地区の配水管を布設 機構改革により下水道事業と組織統合、水道局長職を廃止し「水道部」 となった（部長・総務課長・工務課長併任） 「庶務係、業務係」を「水道総務係、水道業務係」に、「工務係」を 「水道係」に改める

2014年 (平成26年)	3月	糸洲・西崎地内の配水管の更新工事施工 武富区画整理地内・賀数地内の配水管を布設
	4月	税法改正により消費税率8%へ 県企業局、水道料金改定（消費税率改正4月分については5%経過措置） 市水道料金の消費税率改定（4月分については5%経過措置） 水道料金改定（5月分から消費税抜きの旧料金より12%値下げ） 「水道事業管理者」を「水道事業の管理者の権限を行う市長」に改める 第51回日本水道協会沖縄県支部総会を本市で開催
2015年 (平成27年)	3月	西崎地内の配水管を更新 武富区画整理地内・北波平・与座・阿波根地内の配水管を布設
2016年 (平成28年)	3月	豊原及び西川町地内の配水管更新や武富区画整理地内の配水管を布設 農村集落排水事業に伴う米須地内の一部配水管を復旧工事（4条）を布設
2017年 (平成29年)	3月	西崎1丁目・西川町地内及び新垣地内の配水管の更新や武富区画整理地内の配水管布設
	5月	糸満市水道施設整備事業事前評価を実施し、15カ年間の補助事業整備計画としてポンプ場や配水池・配水管の更新耐震化を図るための事業採択を受け、基幹管路の更新耐震化を行った。
2018年 (平成30年)	3月	糸満市水道事業アセットマネジメント策定 糸満市水道事業経営戦略策定
	10月	総務省主催の経営戦略策定事務講習会において事例報告を行った
		配水管布設工事7工区（賀数地内）、配水管布設工事8工区（北波平地内） 配水管布設工事3工区（真栄里地内）、配水管布設工事1工区（米須地内） 配水管布設工事2工区（潮平地内）を実施
	2月	水道事業50周年記念誌発刊
	3月	沖縄県企業局による豊原受水点のメーター取替え及び検針日が15日から末日へと変更された。
2019年 (令和元年)	10月	豊原地内・新垣地内・糸満地内・糸洲地内・小波蔵地内の配水管を布設 税制改正により消費税率10%へ
2020年 (令和2年)		豊原地内に送水管、北波平地内に配水管を布設 米須地区・潮平地内・摩文仁地内の配水管復旧工事を実施
2021年 (令和3年)		豊原・与座地内に水管橋、真栄里地内に配水管を布設 真壁地内の給配水管復旧工事を実施 公共下水道・農業集落排水工事に伴い、賀数・潮平・武富・真壁・摩文仁 大度・米須地区において給配水管復旧工事を実施
2022年 (令和4年)	12月	第12次（第1回変更）行政区域内人口、計画給水人口、給水区域面積の 軽微な変更 豊原・与座・新垣地内に送水管を布設 真壁地内に配水管布設替工事、照屋・真壁・大里地区において減圧弁取替 及び修繕工事を実施 農業集落排水工事に伴う給配水管復旧工事を真壁地区にて実施
2023年 (令和5年)		大度・糸満地内において配水管を布設 真壁・兼城・福地地内において配水管布設替工事を実施 各配水池及び各ポンプ場において水道施設監視カメラ改修工事を実施 農業集落排水工事に伴う給配水管復旧工事を真壁地区にて実施

8-2 拡張事業許認可事項

事業名 内容	認可年月日	認可番号	目標年度	給水区 域内人 口 (人)	計画給 水人口 (人)	普及率 (%)	計画一 日最大 給水量 (m^3)	計画1 人1日 最大給 水量 (L)	事業費 (千円)	起工 年月	竣工 年月	給水区
創 設	S42. 11. 20	指令建945号	-	-	3,000	-	450	150	37,713	S42. 10	S43. 12	糸満(南区)、照屋の事業認可を受け創設される
第1次拡張	S44. 3. 25	指令建136号	-	-	7,800	-	1,170	150	26,578	S44. 7	S45. 10	阿波根、北波平、兼城、賀数を拡張する
第2次拡張	S46. 1. 28	指令建84号	-	-	7,800	-	1,170	150	8,655	S45. 6	S46. 2	川尻(現在の西川町)を拡張する
第3次拡張	S46. 5. 14	指令建477号	-	-	10,250	-	1,537	150	26,914	S46. 1	S46. 8	糸満(前端区、町端区)、武富の一部を拡張する
第4次拡張	S47. 1. 21	指令建56号	-	-	10,835	-	1,625	150	5,136	S47. 1	S47. 5	武富を拡張する
第5次拡張	S52. 9. 26	厚生環576号	-	-	47,200	-	18,900	400	1,472,510	S51. 7	S56. 3	西崎町、潮平、与座、真栄里、豊原、真壁、伊敷、名城、糸洲、小波蔵、南波平、伊原、大度、福地、山城、東里を拡張する
第6次拡張	S54. 9. 13	環指令347号	昭和55年度	-	48,440	-	19,400	400	1,505,370	S54. 6	S56. 3	米須を拡張する
第7次拡張	S55. 12. 22	環指令1395号	-	-	48,440	-	19,400	400	1,629,972	S55. 9	S60. 3	喜屋武を拡張する
第8次拡張	S61. 4. 7	環指令491号	昭和65年度	49,433	48,440	98.0%	20,800	430	1,559,709	S56. 8	S63. 3	第4次埋立地、国吉宇江城を拡張する
第9次拡張	S61. 10. 1	環指令531号	昭和65年度	48,440	48,440	100.0%	20,800	430	1,054,327	S61. 4	S65. 3	座波を拡張する
第10次拡張	H3. 5. 1	沖縄県指令 243号	平成7年度	50,190	49,740	99.1%	19,990	402	891,724	H3. 4	H8. 3	大里、真栄平、糸満漁港南地区背後埋立地を拡張する
第11次拡張	H8. 3. 29	厚生衛351号	平成17年度	57,610	57,080	99.1%	21,752	381	2,343,178	H8. 4	H18. 3	新垣、南浜埋立地を拡張する
第12次拡張	H14. 3. 27	厚生労働省発健0327025	平成22年度	61,400	61,400	100.0%	28,000	456	3,022,200	H15. 4	H21. 3	摩文仁・マリパーション地区(埋立面積224,590.36 m^2)を拡張する
変更届出	R4. 12. 26	(受理) 薬生水収1226第4号	令和17年度	65,382	65,382	100.0%	28,000	456	6,289,000		R3. 3	糸満漁港(埋立面積38,000 m^2)を拡張する